

DIGITAL KEYBOARD

DK-30

取扱説明書

このたびは、エベレット・デジタルキーボードDK-30をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

ページ

1 ご使用の前に

1. ご注意	1
2. 譜面立ての立て方	1
3. 電源のしたく	2

2 各部の名称とはたらき

1. 操作パネル	3
2. 付属端子	6

3 鳴らしてみよう

1. 好きな音色で弾く	7
2. プリセットソングを聴く(デモ)	9
3. プリセットソングのメロディを弾く (マイナスイオン)	11
・プリセットソング(メロディ譜)	13
4. 2つの音色を重ねて弾く(デュアル)	24
5. 低音側と高音側を両方弾く(スプリット)	26
・練習曲(青い影)	29
6. リズムに合わせて弾く	30
7. 演奏に効果を加える (サステイン、オートハーモニー)	34
8. リズム、ベース、コード(自動伴奏)に 合わせて弾く	35
・シングルフィンガーコードで楽々演奏	35
・シングルフィンガーコード一覧表	41
・フィンガードコードで演奏	43
・フィンガードコード一覧表	47
・練習曲(オーラ・リー)	49

4 使いこなしてしまおう

1. 低音側も高音側も2音色で弾く (スプリット+デュアル)	50
2. 音程を合わせる(移調)	53
3. 打楽器を担当する (音色番号99のドラムスを使う)	54
4. コード進行を録音する(コードメモリー)	55
5. 他の機器と接続する	63
6. MIDI機能を使う	63

5 資料

1. 初期化する	68
2. オプション(別売品)のご紹介	68
3. おかしいな?と思ったら	69
4. 仕様	70
5. サービスと保証	裏表紙

1. ご使用の前に

1. ご注意

こんな所には置かないでください。



- ・窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
- ・日中の車内
- ・温度の特に低い場所
- ・湿気やホコリの多い場所
- ・振動の多い場所

こんな所では使わないでください。



- ・ラジオやテレビのすぐ近くで使用されますと、ラジオやテレビ側で雑音が発生することがあります。十分に離してお使いください。

乱暴に扱わないでください。



- ・落としたり、物をおつけたり、上に座ったりしないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。

使わない時は…



- ・必ず電源を切ってください。
 - ・電源アダプターを、家庭用コンセントから抜いてください。
 - ・長い間使わない時は、乾電池を取り出してください。
- ※ただし、電源アダプターを抜いて乾電池を取り出すと、初期化されます。(68ページ参照)

美しく保つために…



- ・汚れは、柔らかい布でカラ拭きしてください。
- ・汚れがひどい時は、少し水で湿らせた布で拭いてください。
- ・アルコールやシンナー類は、絶対に使わないでください。
- ・ビニール製品を上に乗らないでください。貼り付いてしまうことがあります。

保管してください。

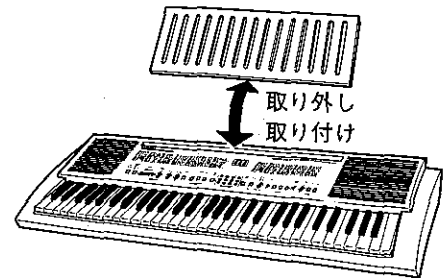


- ・この取扱説明書をお読みにになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

不適切な使用による故障につきましては、保証しかねる場合がございます。

2. 譜面立ての立て方

付属の譜面立ては、DK-30のパネル上のミゾに差し込んでお使いください。



◆音楽を楽しむエチケット



これは、日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を締めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

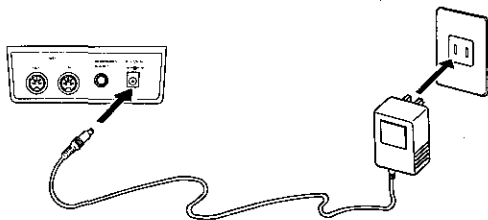
3. 電源のしたく

DK-30は、家庭用コンセントでも乾電池でも使えます。お使いになる前に、どちらかを選んで準備してください。

家庭用コンセントから電源をとる場合

付属の電源アダプターPA-3を使用します。図のように接続してください。

①背面パネルにある電源アダプター接続用端子〈DC 9-12V IN〉へ差し込む。

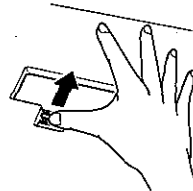


②家庭用(AC100V)コンセントに差し込む。

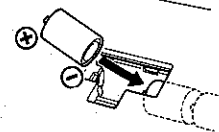
※電源アダプターをご使用になる場合は、必ず同梱の専用アダプターPA-3をご使用ください。他の電源アダプターの使用が原因で故障した場合は、保証期間内でも保証できない場合がございますので、充分ご注意ください。

乾電池を使う場合

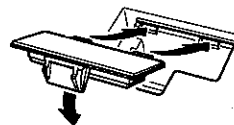
①DK-30を裏返し、電池ブタを外します。



②市販の乾電池(単1乾電池)を6本入れます。向きを間違えないように入れてください。



③電池ブタを閉めます。



※電池が少なくなると、音が歪んだり、途切れたり誤動作するようになります。このような時は、6本共新しいものと交換してください。

お買い求めの際、乾電池は単1乾電池6本とご指定ください。

※決して、古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。また種類の異なる電池(たとえばアルカリとマンガン、A社とB社のものなど)を混ぜて使用しないでください。

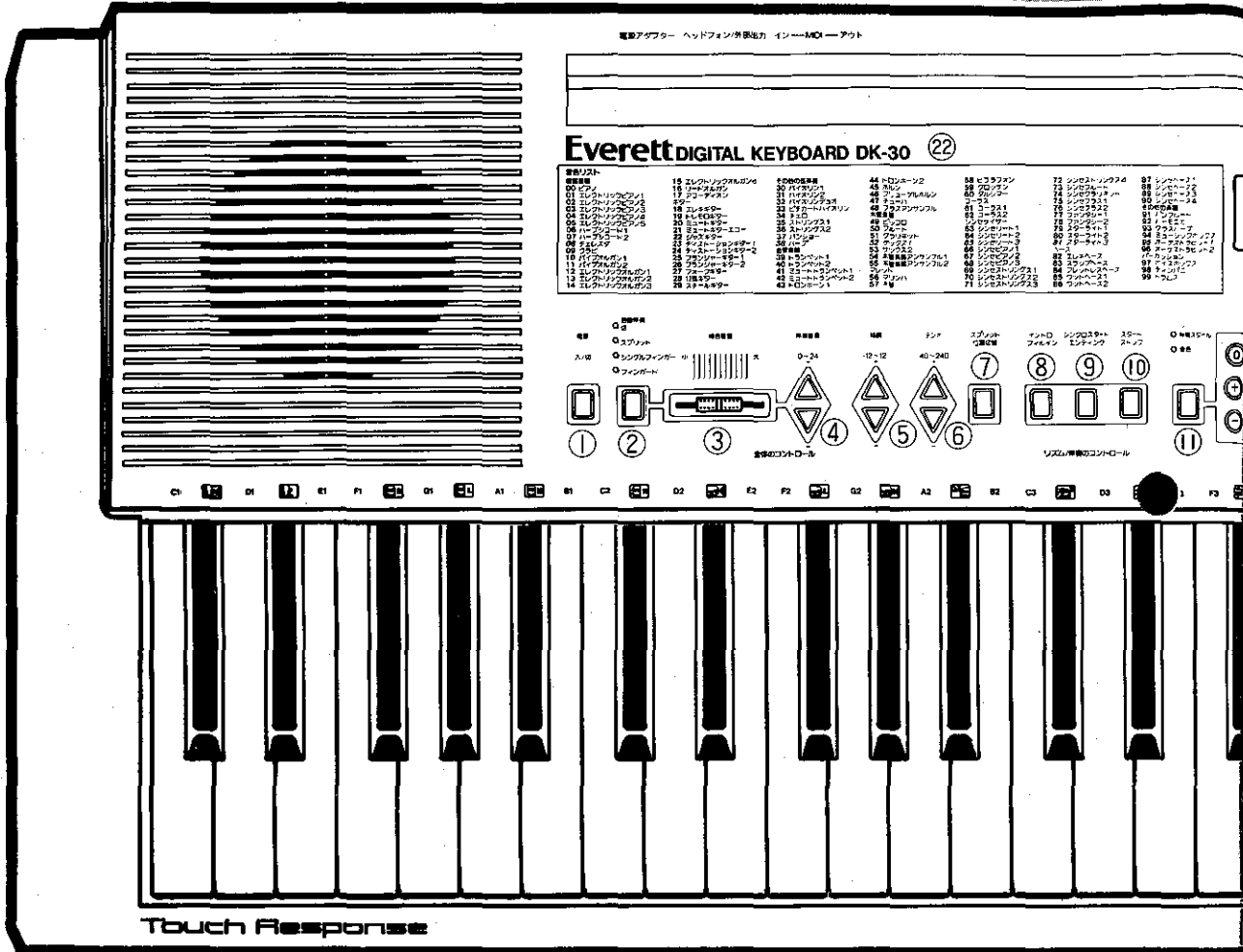
※乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるように切り替わります。

※乾電池でご使用の場合は、電源を入れたまま使用しないですと、電池の消耗を防ぐため約10分後に自動的に電源が切れます。

2. 各部の名称とはたらき

→マークのところにくわしく説明してあります。

1. 操作パネル



①電源(入/切)ボタン(→7ページ)

このボタンを押すと電源が入ります。もう一度押すと切れます。電源が入ると、②の「マルチディスプレイ」に音色番号の00が表示されます。乾電池でご使用の場合は、10分以上使わないでいると自動的に切れます。

②自動伴奏(切/スプリット/シンブルフィンガー/フィンガード)切替ボタン(→26、35、43、50ページ)

演奏のしかたを切り替えるためのボタンです。選択した状態のランプが点灯します。

切

基本的な演奏ができます。

スプリット

低音側の鍵盤を弾いた時に鳴る音と高音側の鍵盤を弾いた時に鳴る音の音色を、異なったものにできます。

シンブルフィンガー

低音側の鍵盤を指1本~3本で押さえて自動伴奏させることができます。自動伴奏は、ベース、コード、リズムパートから成り立ちます。もちろん、自動伴奏に合わせて高音側の鍵盤で演奏できます。

フィンガード

低音側の鍵盤を普通のコードの押さえ方で押さえて自動伴奏させることができます。自動伴奏はシンブルフィンガー時と同じで、ベース、コード、リズムパートから成り立ちます。もちろん、自動伴奏に合わせて高音側の鍵盤で演奏できます。

③総合音量レバー(→8ページ)

全体の音量を調節するためのレバーです。

④伴奏音量(+、-)ボタン(→32、37、44ページ)

自動伴奏(リズム、コード、ベースパート)の音量を調節するためのボタンです。

⑤移調(+、-)ボタン(→53ページ)

移調の量を設定するためのボタンです。

⑥テンポ(+、-)ボタン(→12、33、37、45ページ)

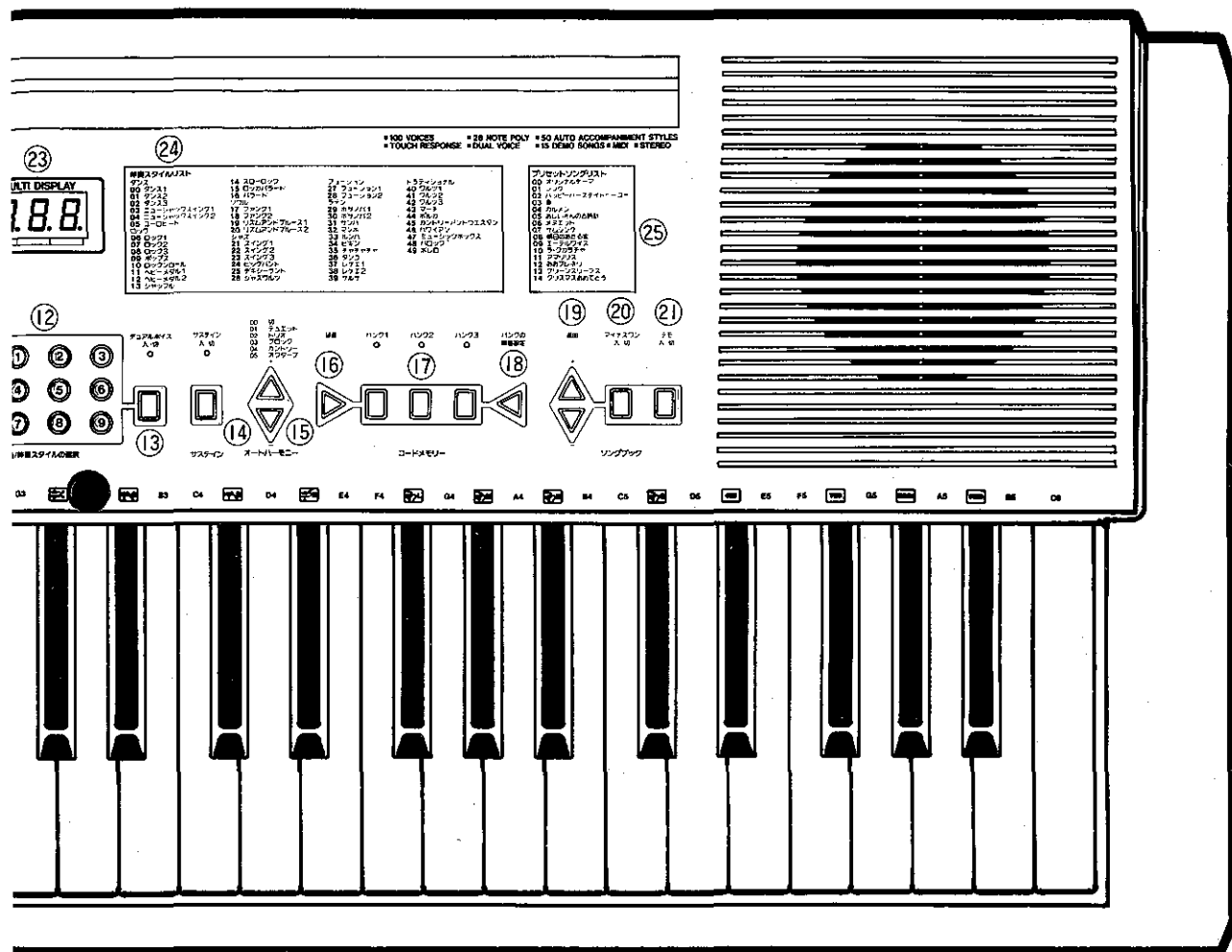
リズム(曲)の速さを調節するためのボタンです。

⑦スプリット位置切替ボタン(→26、36、43ページ)

スプリット時、シンブルフィンガー時、フィンガード時それぞれの低音側と高音側の境を変更する時に押します。

⑧イントロ/フィルインボタン(→32、33、38、45、46ページ)

イントロのパターンでリズムをスタートさせたり、フィルインのパターンを入れる時に押します。



⑨シンクロスタート/エンディングボタン
(→32、33、38、39、45、46ページ)

押鍵(鍵盤を押す)と同時にリズムをスタートさせたり、エンディングのパターンでリズムを停止させる時に押します。

⑩スタート/ストップボタン(→32、33、38、39、45、46ページ)

すぐにリズムをスタートさせたり、すぐにリズムを停止させる時に押します。

⑪伴奏スタイル/音色切替ボタン(→7、24、27、30、31、54ページ)

⑫の[音色/伴奏スタイルの選択]ボタンのはたらきを切り替えることができません。選んだはたらきのランプが点灯します。

⑫音色/伴奏スタイルの選択ボタン

(→8、25、27、28、30、31、54ページ)

⑪の伴奏スタイルランプが点灯している時は、これらのボタンで伴奏スタイル(リズムの種類)を選択できます。

⑪の音色ランプが点灯している時は、これらのボタンで音色を選択できます。

⑬デュアルボイス(入/切)ボタン(→25、52ページ)

このボタンを押してランプを点灯させると、デュアルボイス演奏が可能になります。さらに、この状態ではデュアルボイスの音色を指定することができます。

もう一度このボタンを押してランプを消灯させると、デュアルボイスの状態が解除されます。

※デュアルボイス演奏とは?

デュアルボイス演奏は、演奏に対して2つの音色が同時に(重なって)鳴る機能です。音色の組み合わせは、自分で自由に指定できます。

⑭サステイン(入/切)ボタン(→34ページ)

このボタンを押してランプを点灯させると、演奏音の余韻が長くなります。

もう一度押してランプを消灯させると、効果が解除されて元の状態に戻ります。

⑮オートハーモニー切替ボタン(→34ページ)

オートハーモニーの状態を切り替えるためのボタンです。⑬の[マルチディスプレイ]に表示される番号を見ながら切り替えます。

00:切

ハーモニーにはなりません。

01:デュエット

2音のハーモニーになります。

02:トリオ

3音のハーモニーになります。

03:ブロック

ジャズ風のハーモニーになります。

04:カントリー

カントリー調のハーモニーになります。

05: オクターブ

1オクターブ下と2オクターブ下の音が付加されたハーモニーになります。

⑩録音ボタン(→56、64ページ)

コード進行を録音する時に使います。また、MIDIの設定を変える時にも使います。

⑪バンク1、2、3ボタン(→56、58、59ページ)

コード進行を録音する時やバンクの順番を設定する時、再生する時に使います。

⑫バンクの順番設定ボタン(→59、61ページ)

バンクの順番を設定する時や連結再生させる時に使います。

⑬選曲ボタン(→9、11ページ)

プリセットソングを聴く時の選曲ボタンです。

⑭マイナスイオン(入/切)ボタン(→12ページ)

プリセットソングに合わせてメロディを弾く時は、このボタンを押します。メロディ無しの状態ですぐにスタートします。もう一度押すと止まります。

また、メロディ有りの演奏中に押すと、メロディ無しの状態に変わります。

⑮デモ(入/切)ボタン(→9、10ページ)

プリセットソングをメロディ有りの状態でスタートさせるボタンです。

もう一度押すと止まります。

また、メロディ無しの演奏中に押すと、メロディ有りの状態に変わります。

⑯音色リスト(→7、24、27、29、36、44ページ)

100種類の音色名が表示されています。これらの中から、手弾き音の音色を選択できます。

⑰マルチディスプレイ(→8、26、33、34、36、59、61、64、65ページ)

音色番号やスタイル番号がここに表示されます。伴奏音量、移調、テンポ、オートハーモニー、ソング等の設定時は、設定の間のみその値が表示され、数秒後には音色番号またはスタイル番号の表示に戻ります。

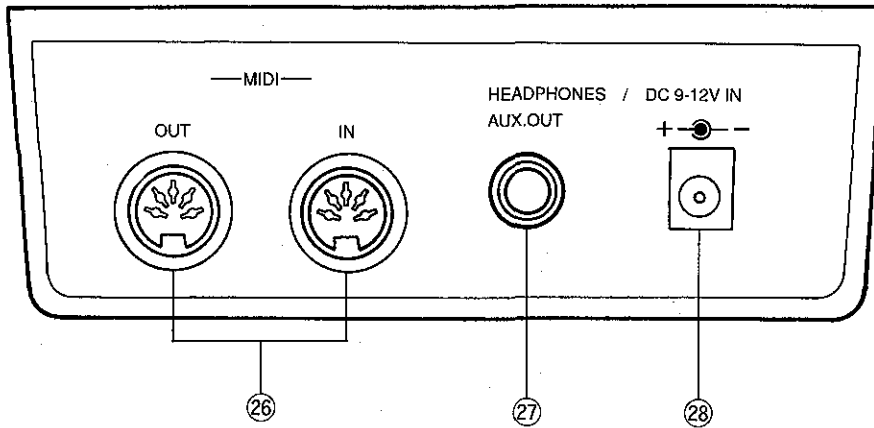
⑱伴奏スタイルリスト(→31、36、44ページ)

50種類の伴奏スタイル名が表示されています。これらの中から、演奏に使う伴奏スタイルを選択できます。

⑲プリセットソングリスト(→9、11ページ)

15種類のプリセットソング名が表示されています。これらの中から、プリセットソングを選択できます。

2. 付属端子



②⑥MIDI(IN、OUT)端子(→63ページ)

他のMIDI(ミディ)機器と接続するための端子です。他のMIDI機器と接続すると、MIDI機能を使えるようになります。

②⑦ヘッドフォン/AUX出力端子(→63ページ)

DK-30の音を出力する端子です。ヘッドフォンを接続して夜間練習したり、キーボードアンプやステレオと接続して、より大きな音で鳴らすことができます。

この端子にプラグを差し込むと、DK-30のスピーカーからは音が出なくなります。

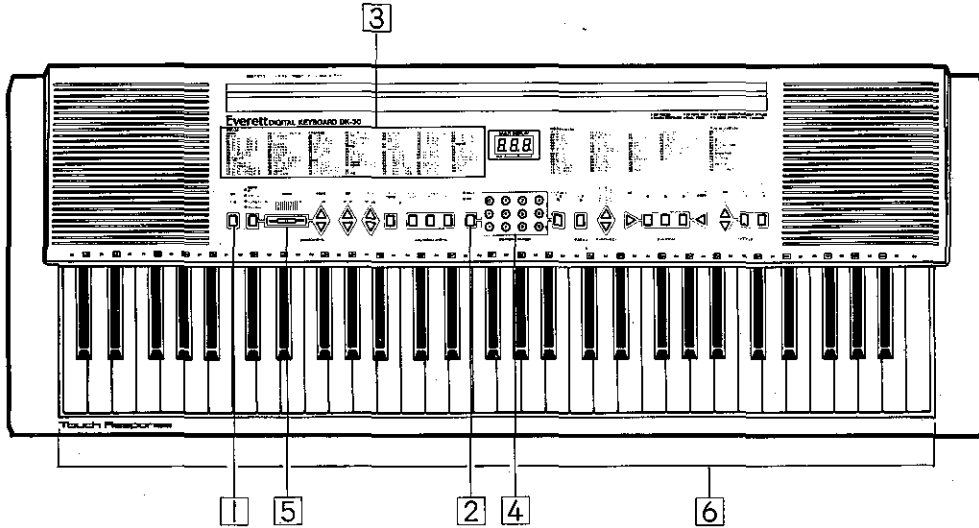
②⑧電源アダプター接続用端子(→2ページ)

付属の電源アダプターPA-3を接続するための端子です。PA-3を接続すると、家庭用の電源コンセントから電源をとって使用できるようになります。

3. 鳴らしてみよう

1. 好きな音色で弾く

DK-30には100種類の音色があります。いろいろな音色に切り替えて弾いてみましょう。



1 電源を入れる



電源(入/切)ボタンを押して電源を入れます。

2 音色ランプの点灯確認



音色ランプが点灯していることを確認します。
伴奏スタイルランプが点灯している時は、伴奏スタイル/音色切替ボタンを押して、音色ランプを点灯させます。

3 音色番号の確認

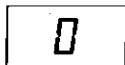
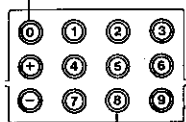
音色リストの中から、演奏に使う音色を見つけます。

4 音色の指定

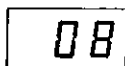
1~0ボタンで指定する場合

例) 音色番号08のチェレスタを指定する

0ボタンを押して、



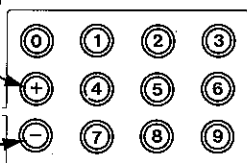
次に8を押します。



+, -ボタンで指定する場合

大きい番号の
音色になる

小さい番号の
音色になる



指定の方法には2種類あります。

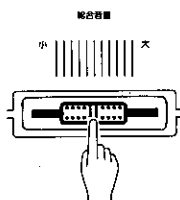
10の位のボタンを押したうえで、1の位のボタンを押します。

+ボタンを押すと1大きい番号の音色になり、-ボタンを押すと1小さい番号の音色になります。

押し続けると連続して変わります。

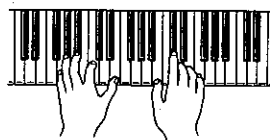
※電源を入れた直後は、音色番号00のピアノの音色になっています。

5 音量調節



総合音量レバーで音量調節します。

6 演奏



好きな曲を弾いてみましょう。

※音の大きさは、押鍵の強弱に応じて変化します。(抑揚の表現が可能です。)

また、音色によってこの感度は異なります。

※音色によって最適音域が鍵盤に割り付けられます。

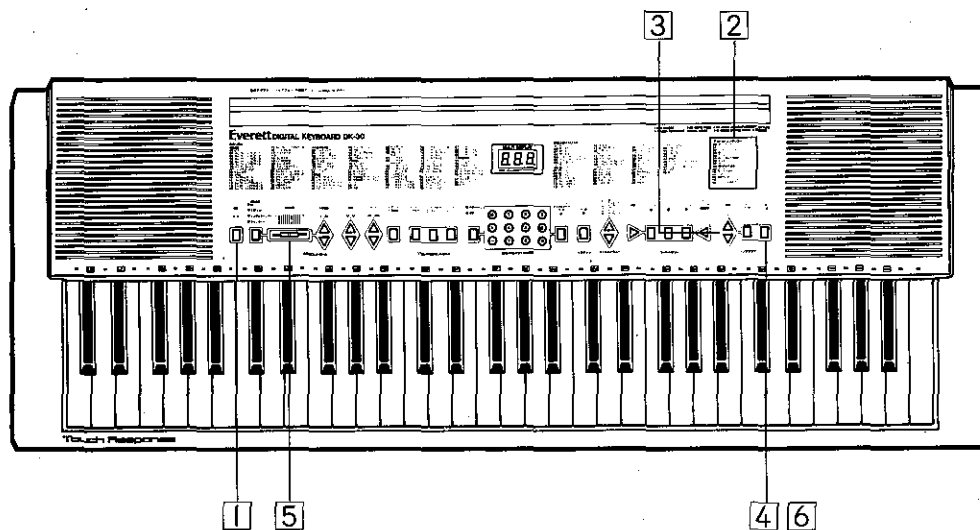
※いろいろな音色に切り替えて弾いてみましょう。

※最大同時発音数は28音ですが、自動伴奏やデュアルボイス、オートハーモニー機能などを使うと、同時発音数は少なくなります。また100種類の音色の中には、同時発音数が少なくなる音色もあります。

※同時発音数が限界を越えると、マルチディスプレイには **FULL** が表示され、それ以上の音は発音されません。

2. プリセットソングを聴く(デモ)

DK-30にはお手本として、プリセットソングと呼ばれる15種類の曲が入っており、いつでも自由に聴くことができます。



1 電源を入れる

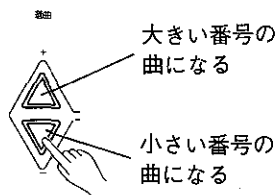


電源(入/切)ボタンを押して電源を入れます。

2 曲の確認

プリセットソングリストの中から、聴きたい曲を見つけます。

3 曲の指定



選曲ボタンで、プリセットソングを指定します。

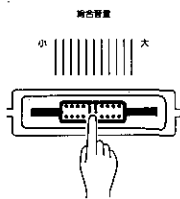
+または-ボタンを押すと、現在選ばれているプリセットソングの曲番号が表示されます。表示されている間に、+ボタンを押すと1大きい番号の曲になり、-ボタンを押すと1小さい番号の曲になります。押し続けると連続して変わります。
 ※曲の再生中に曲番号を変更すると、すぐに新しい曲の再生が始まります。
 ※電源を入れた直後は、曲番号d00(デモ00)のオリジナルテーマになっています。

4 スタート



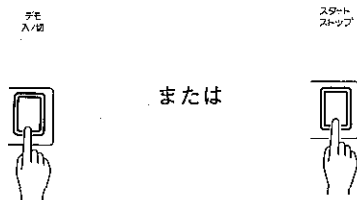
デモ(入/切)ボタンを押して、曲をスタートさせます。

5 音量の調節



総合音量レバーで適度な音量になるように調節します。

6 ストップ



曲は繰り返し再生されます。停止させる時は、デモ(入/切)ボタンまたはスタート/ストップボタンを押します。

※テンポを調節することもできます。(12ページ参照)

※プリセットソングを聴きながら、演奏することもできます。

※曲の再生中でも、メロディの音色、デュアル、サステインの設定を変更できます。ただし、曲中の自動切り替えのところにいくと、そこでメロディの音色、デュアルはお手本の設定に戻ります。

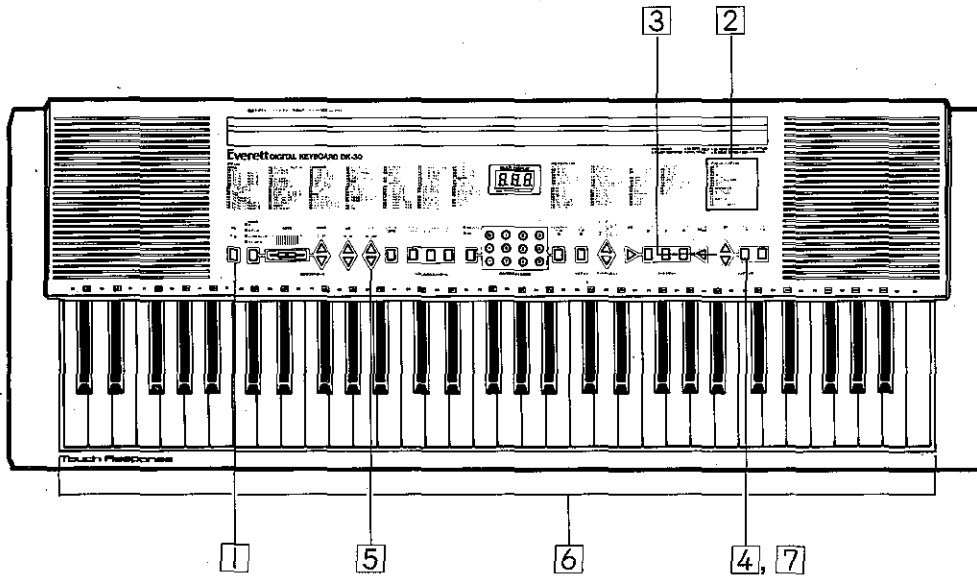
※曲の再生中でも、伴奏音量ボタンを押して伴奏の音量だけを調節することができます。ただし、曲がスタートする時点で、伴奏音量は"21"に戻ります。

※曲の再生中に、自動伴奏の設定をシングルフィンガーまたはフィンガードに切り替えることはできません。

※曲の再生中に、スタイルを変更することはできません。

3. プリセットソングのメロディを弾く(マイナスイオン)

プリセットソングの15種類の曲は、メロディ無しで演奏させることができます。そこで、自分でメロディを弾くことができます。好きな音色を選んで楽しく演奏してみましょう。



1 電源を入れる



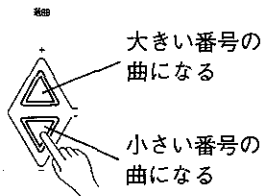
電源(入/切)ボタンを押して電源を入れます。

2 曲の確認

プリセットソングリストの中から、メロディ演奏したい曲を見つけます。

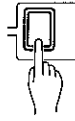
3 曲の指定

選曲ボタンで、プリセットソングを指定します。



4 スタート

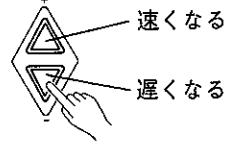
マイナスイオン
入/切



マイナスイオン(入/切)ボタンを押して、曲をスタートさせます。(メロディ無しでスタートします。)

5 テンポの調節

テンポ
40~240



自動演奏の速さをテンポボタンで調節します。メロディ演奏しやすい速さに調節してください。

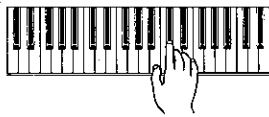
+または-ボタンを押すと、現在のテンポ値が表示されます。表示されている間に、+ボタンを押すと1段階速いテンポになり、-ボタンを押すと1段階遅いテンポになります。

押し続けると連続して変わります。

※曲をスタートさせる前にテンポを調節しても、スタートさせた時点で、その曲の標準テンポになってしまいます。

※+ボタンと-ボタンを同時に押すと、その曲の標準テンポに戻ります。

6 演奏



メロディを弾いてみましょう。

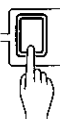
※メロディの音色は、メロディ有りの場合の音色と同じです。また、デュアル、オートハーモニーの設定も同様です。

※スタートさせた後にデモ(入/切)ボタンを押すことにより、メロディ有りの状態にすることができます。再びメロディ無しの状態にする場合は、マイナスイオン(入/切)ボタンを押します。

7 ストップ

マイナスイオン
入/切

スタート
ストップ



または



曲は繰り返し再生されます。停止させる時は、マイナスイオン(入/切)ボタンまたはスタート/ストップボタンを押します。

※曲の再生中でも、メロディの音色、デュアル、オートハーモニー、サステインの設定を変更できます。ただし、曲中の自動切り替えのところになると、そこでメロディの音色、デュアル、オートハーモニーはお手本の設定に戻ります。

※曲の再生中でも、伴奏音量ボタンを押して伴奏の音量だけを調節することができます。ただし、曲がスタートする時点で、伴奏音量は"21"に戻ります。

※曲の再生中に、自動伴奏の設定をシングルフィンガーまたはフィンガードに切り替えることはできません。

※曲の再生中に、スタイルを変更することはできません。

■プリセットソング(メロディ譜)

スタイル：05 ユーロビート

00：オリジナルテーマ

ヤマハオリジナル

♩ = 128

V：音色番号を示す

H：オートハーモニータイプを示す

INTRO

V: 81
H: 05

FILL IN

Am7 D7 Am7 D7 Dm7 G7

V: 75
H: 02

FILL IN

V: 29
H: 00

FILL IN

D.S.

Coda

ENDING

Fine

・D.S.で戻った後も、繰り返しを行います。

01 : シング (Sing)

作曲 : Joe Raposo

スタイル : 06 ロック1

V : 音色番号を示す

H : オートハーモニータイプを示す

♩ = 144

INTRO

F Fmaj7 Gm7 Gm7 F

Fmaj7 Gm7 C7 F Fmaj7 Gm7

V: 78
H: 00

Gm7 F F7 Cm F7 B♭

FILL IN

B♭7 F F Dm7 G7 Gm7

C7 F Fmaj7 Gm7 Gm7 F

H: 02

Fmaj7 Cm7 F7 B♭maj7 Gm7 A7 Dm

H: 00

⁻⁵Bm7 F C7 F Fmaj7 F F

ENDING *Fine*

Copyright © 1971 Jonico Music, Inc.
International Copyright Secured All Rights Reserved

02 : ハッピーバースディトゥーユー (Happy Birthday to You)

スタイル : 26 ジャズワルツ

作曲 : Mildred J. Hill & Patty S. Hill

V : 音色番号を示す

♩ = 120

H : オートハーモニータイプを示す

F G7 C G

INTRO

V: 59 + 08 (PSR-300)
H: 00 (2nd. time H: 02)

G7 C C FILL IN F C G7

C F G7 C G7 C

FILL IN ENDING

Fine

Copyright © 1935 Summy-Birchard Music, a division of Birch Tree Group Ltd.
Copyright Renewed International Copyright Secured All Rights Reserved

03 : 春 (Spring)

スタイル : 17 ファンク1

作曲 : Vivaldi

V : 音色番号を示す

♩ = 116

H : オートハーモニータイプを示す

C7 C7 G7 G C C

INTRO

FILL IN

V: 32
H: 01

C G7 G C C C C G7 G

C C C G7 C

FILL IN

Am Dm G7 C C C C G7 G

V: 72
H: 02

V: 32
H: 01

C C C G7 C C

ENDING

Fine

スタイル：43 マーチ

V：音色番号を示す

H：オートハーモニータイプを示す

04：カルメン(Carmen)

作曲：Bizet

♩ = 120

INTRO

V: 39

F F Gm C7 F Dm G7 C

Gm Dm Am E7 A

V: 48
H: 02

Gm C7 F F C7 to F C

V: 39
H: 00

FILL IN D.S.

F G7 C7 F F

FILL IN ENDING

Fine

05：おじいさんの古時計(Grandfather's Clock)

スタイル：48 バロック

V：音色番号を示す

H：オートハーモニータイプを示す

作曲：Henry Clay Work

♩ = 116

INTRO

V: 68 + 77 (PSR-300)
H: 01

G D7 G D7 G D7 G C

1. 2.

G D7 G Em A7 D7

FILL IN

G Em A7 D7 G D7 G C Cm G D7

G G C G G G C G G

V: 58 + 77 (PSR-300)
H: 04

C D7 G7 C Cm G D7 G G

ENDING

Fine

スタイル：09 ポップス
 V：音色番号を示す
 H：オートハーモニータイプを示す

06：メヌエット (Minuet)

作曲：Bach
 ♩ = 116

INTRO

Gm7 C7 F Dm Gm7 C7 F

FILL IN

F F B^b C7 F Dm Gm7 C7 F Dm

V: 00

C G7 C C7 F F B^b C7 F Dm

FILL IN

Gm7 C7 F Dm Gm7 C7

1. F 2. F F

FILL IN ENDING *Fine*

スタイル：14 スローロック
 V：音色番号を示す
 H：オートハーモニータイプを示す

07：サムシング (Something)

作曲：George Harrison
 ♩ = 76

INTRO

F E^b G7 C Cmaj7 C7

FILL IN

V: 02 (D.S.—H: 01)

F D7 G Am AmM7 Am7 D7

F E^b G7 A A C[#]m F[#]m F[#]m7 D G

FILL IN FILL IN H: 01

1. A 2. C

FILL IN FILL IN D.S.

Ⓞ Coda

F E^b G7 C C

FILL IN ENDING *Fine*

08：朝日のあたる家(House of The Rising Sun)

スタイル：38 レゲエ2

V：音色番号を示す

H：オートハーモニータイプを示す

アメリカ民謡

♩ = 120

The musical score is written on a single treble clef staff in 4/4 time. It begins with an 'INTRO' section consisting of two measures of rests, followed by a 'FILL IN' section of two measures. The main melody starts with a quarter rest, then a quarter note G4, followed by eighth notes A4, B4, and C5. The piece features a variety of chords including E7, Am, C, D, F, and A. Triplet markings are used throughout the score. The score concludes with an 'ENDING' section of two measures and ends with the word 'Fine'.

INTRO

FILL IN

V: 34

ENDING

Fine

09 : エーデルワイス (Edelweiss)

作曲 : Richard Rodgers

スタイル : 40 ワルツ1

V : 音色番号を示す

H : オートハーモニータイプを示す

♩ = 112

The musical score is written in treble clef with a 3/4 time signature. It begins with an 'INTRO' section, followed by a 'FILL IN' section. The main melody is accompanied by chords: G7, C, G7, C, F, C, Am, Dm, G7, C, G7, C, F, C, C, G7, G7, C, C, F, D7, G, G7, C, C7, F, Fm. The score includes dynamic markings such as 'V: 74', 'V: 17', and 'H: 02'. It concludes with a 'FILL IN' section, a first ending (1.), a second ending (2.), and an 'ENDING' section marked 'Fine'.

Copyright © 1959 by Richard Rodgers and Oscar Hammerstein II
 Copyright Renewed
 WILLIAMSON MUSIC owner of publication and allied rights throughout the world.
 International Copyright Secured All Rights Reserved

スタイル: 31 サンバ

10: ラ・クカラチャ (La Cucaracha)

トラディショナル

V: Aは、音色番号11と01のデュアルを示す

♩ = 108

V: Bは、音色番号06と89のデュアルを示す

C G7 C C G7

INTRO

V: A

V: B

V: A

G7 G7 C C C G7

V: B

V: A

V: B

V: A

G7 G7 C C C G7

V: B

V: A

V: B

G7 G7 C C C G7

V: A

V: B

V: A

V: B

G7 G7 C C C G7

V: A

V: B

V: A

V: B

V: A

G7 G7 C C C

V: B

ENDING

Fine

スタイル：47 ミュージックボックス

11：アマリリス(Amaryllis)

作曲：Louis X III

V：音色番号を示す

♩ = 80

H：オートハーモニータイプを示す

Musical score for 'Amaryllis' in 4/4 time. The score consists of four staves of music. The first staff is labeled 'INTRO' and 'FILL IN V: 59'. The second staff continues the melody with various chords. The third staff includes a 'Coda' section and is marked 'D.S.'. The fourth staff is labeled 'ENDING' and 'Fine'. Chords are indicated above the notes, and performance instructions like 'H: 00' and 'V: 00' are provided.

スタイル：44 ポルカ

12：おおブレネリ(O, Vreneli)

スイス民謡

V：音色番号を示す

♩ = 124

H：オートハーモニータイプを示す

Musical score for 'O, Vreneli' in 4/4 time. The score consists of four staves of music. The first staff is labeled 'INTRO' and 'FILL IN V: 92'. The second and third staves continue the melody with various chords. The fourth staff is labeled 'ENDING' and 'Fine', and includes a first and second ending section. Chords are indicated above the notes, and performance instructions like 'H: 00' and 'V: 92' are provided.

スタイル：41 ワルツ2

13： グリーンスリーブス (Greensleeves)

イギリス民謡

V：音色番号を示す

♩ = 112

H：オートハーモニータイプを示す

Am D Am D Am D

INTRO V: 55

G C F Dm Em Em Am

D G C Am E7

Am Am C C Bm Em Am

FILL IN V: 35 H: 02

B7 Em Em C C Bm Em

FILL IN

Am E7 1. Am Am 2. Am Am Am

FILL IN ENDING Fine

スタイル：42 ワルツ3

V：音色番号を示す

H：オートハーモニータイプを示す

14：クリスマスおめでとう

イギリス民謡

(We Wish You a Merry Christmas)

♩ = 136

INTRO

C F G7 C C F

V: 73

D7 G E7 Am Dm G7 C

FILL IN

* C F D7 G E7 Am

Dm G7 C C G D7 G

FILL IN V: 77 H: 02

C C Dm G7 to C C F

G7 C

D.S. V: 73 H: 00

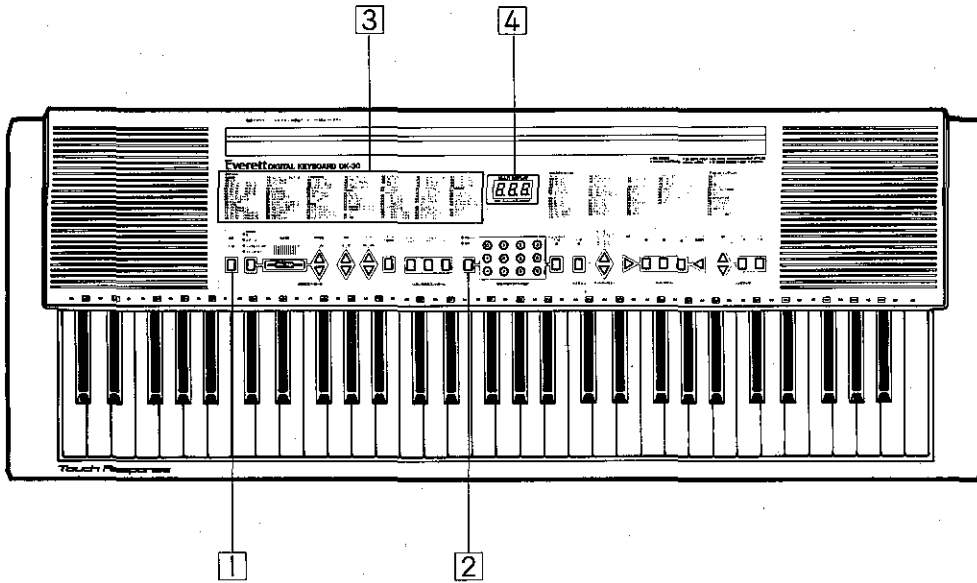
⊕ Coda

C C C

ENDING Fin

4. 2つの音色を重ねて弾く(デュアル)

100種類の音色の中から異った2つの音色を選んで、同時に鳴らすことができます。



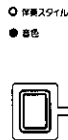
1 電源を入れる

電源(入/切)ボタンを押して電源を入れます。



2 音色ランプの点灯確認

音色ランプが点灯していることを確認します。
伴奏スタイルランプが点灯している時は、伴奏スタイル/音色切替ボタンを押して、音色ランプを点灯させます。

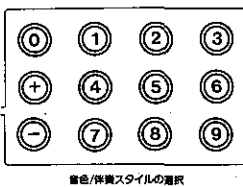


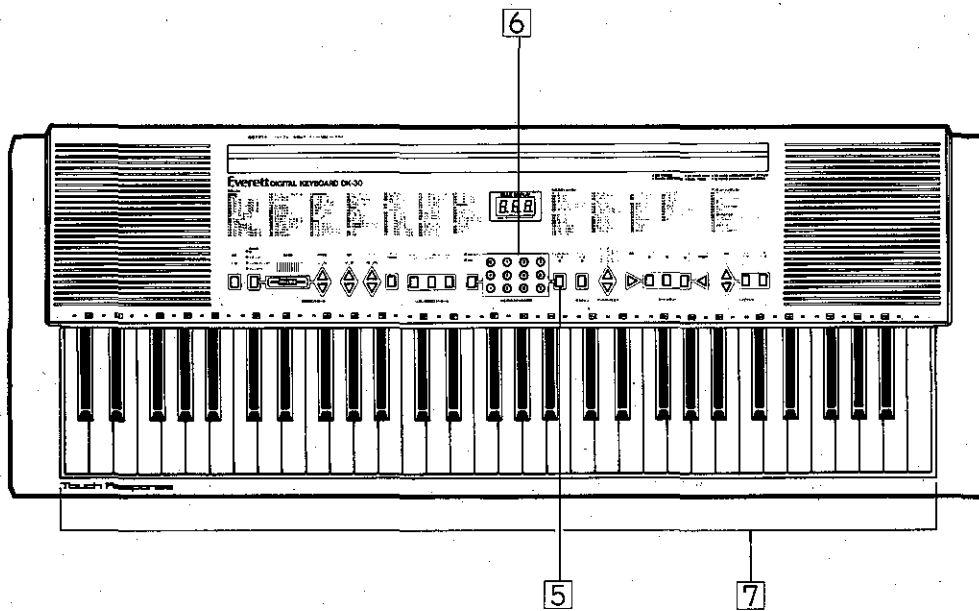
3 音色番号の確認

音色リストの中から、組み合わせる音色を見つけます。

4 片方の音色の指定

デュアルボイスボタンのランプが消えている状態で、音色/伴奏スタイルの選択ボタンで、2つの音色の内の片方を指定します。





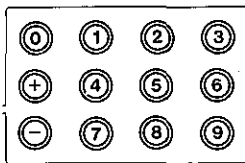
5 デュアルボイスボタンを入にする

デュアルボイス
入/切



デュアルボイス(入/切)ボタンを押してランプを点灯させます。

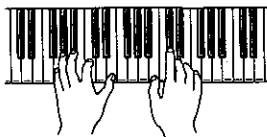
6 もう一方の音色の指定



音色/伴奏スタイルの選択

音色/伴奏スタイルの選択ボタンで、もう一方の音色を指定します。
 ※電源を入れた直後は、音色番号80のスターライト2の音色になっています。
 ※ここで指定したもう一方の音色は、デュアルボイスボタンを入にするたびに呼び出されます。

7 演奏



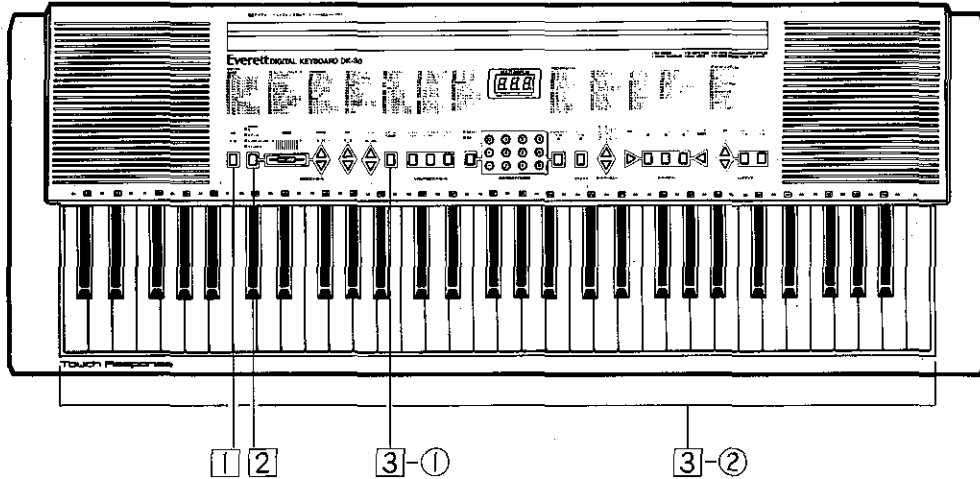
好きな曲を弾いてみましょう。
 ※デュアルボイスを入にすると、同時発音数は減ります。(8ページ参照)

※1曲の中で、デュアルボイス(入/切)ボタンを押して、入(2音色)の状態と切(1音色)の状態を使い分けると効果的です。
 切の状態の1音色は、デュアルボイス(入/切)ボタン切の状態の時に指定した音色です。
 ※いろいろな音色を組み合わせせて弾いてみましょう。

※伴奏(リズム、ベース、コード)音、オートハーモニーの時の付加音には、この効果はかかりません。
 ※スプリット機能を併用することができます。そうすれば、高音側と低音側それぞれ2音色で演奏できます。26ページをご覧ください。

5. 低音側と高音側を両方弾く(スプリット)

スプリットの機能を使うことにより、低音側(左手鍵盤)と高音側(右手鍵盤)に分けて別々の音色で演奏できます。主に低音側では伴奏を、高音側ではメロディパートを演奏します。

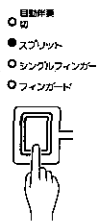


1 電源を入れる



電源(入/切)ボタンを押して電源を入れます。

2 スプリットの状態にする

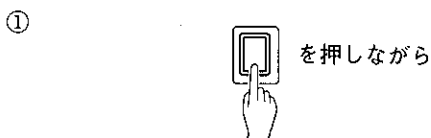


自動伴奏(切/スプリット/シングルフィンガー/フィンガード)切替ボタンを押して、スプリットのランプを点灯させます。

※自動伴奏切替を行うと、鍵盤、MIDIからの発音は一度止まります。

3 スプリット位置の指定

スプリット位置切替ボタン



②



スプリット位置切替ボタンを押すと、マルチディスプレイに低音側と高音側の境が表示されます。必要であれば、次の方法で、低音側と高音側の境を変更します。

①スプリット位置切替ボタンを押しながら、

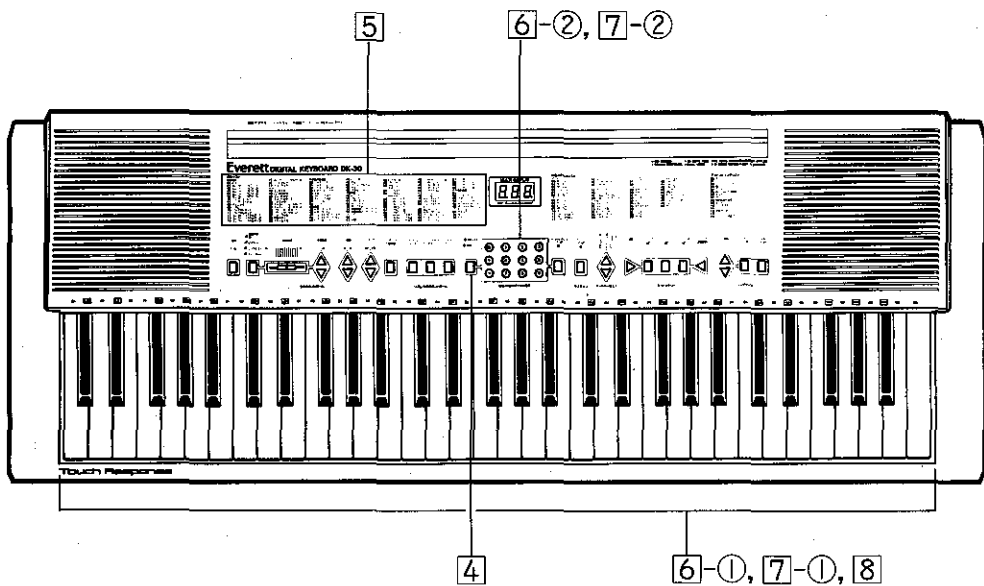
②高音側の最低音の鍵盤を押します。

例) A[♯]₂をスプリット位置にした時の表示

'を意味する

A[♯] 2

※自動伴奏切替ボタンが"切"の場合、スプリット位置は存在しません。したがって、スプリット位置切替ボタンを押すと、---が表示されます。



4 音色ランプの点灯確認

○ 伴奏スタイル
● 音色



音色ランプが点灯していることを確認します。
伴奏スタイルランプが点灯している時は、伴奏スタイル/音色切替ボタンを押して、音色ランプを点灯させます。

5 音色番号の確認

音色リストの中から、それぞれの音色を見つけます。

6 高音側の音色の指定

①

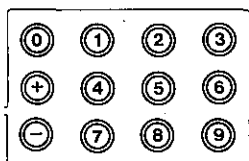


高音側の鍵盤を押す

高音側の音色は、スプリットに切り替える前の音色になっています。音色を切り替える場合、

①高音側のいずれかの鍵盤を押します。

②



音色/伴奏スタイルの選択

②音色/伴奏スタイルの選択ボタンで、高音側の音色を指定します。(指定した音色の番号が表示されます。)

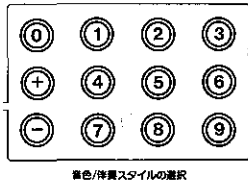
※電源を入れた直後は、音色番号00のピアノの音色になっています。

7 低音側の音色の指定

①



②



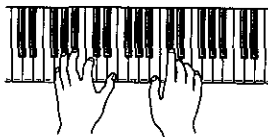
低音側の音色は、以前スプリットモードで切り替えた音色が再び呼び出されます。音色を切り替える場合、

①低音側のいずれかの鍵盤を押します。

②音色/伴奏スタイルの選択ボタンで、低音側の音色を指定します。(指定した音色の番号が表示されます。)

※電源を入れた直後は、音色番号82のエレキベースの音色になっています。

8 演奏



好きな曲を弾いてみましょう。指定したスプリット位置を境に別々の音色で演奏できます。

※低音側の音色は、低音側の鍵域に合うように、オクターブが自動的に設定されます。

※スプリットの状態から通常の状態に戻すと、高音側で指定していた音色になります。

※いろいろな音色に切り替えて弾いてみましょう。

※デュアル機能(24ページ参照)を併用することができます。そうすれば、高音側と低音側それぞれ2音色(50ページ参照)で演奏できます。

※スプリット位置は、スプリット、シングルフィンガー、フィンガードの状態別に指定できます。

※低音側、高音側の鍵盤を交互に弾くと、マルチディスプレイやデュアル、サステインの表示が絶えず変わりますが、演奏には全く支障ありません。

※電源アダプターを外したり、乾電池を抜く、または初期化すると、スプリット位置は初期状態のC₃になります。(初期化については68ページ参照)

■練習曲

スプリットの状態で演奏する場合は「青い影」のイントロのように、低音側と高音側がはっきりと分かれている曲が楽しいでしょう。左手(低音側)でベースパート、右手(高音側)でメロディパートを弾いてみましょう。

青い影 (A WHITER SHADE OF PALE)

セッティング

伴奏スタイル：06 ロック1

テンポ：♩=70

低音側音色：82 エレキベースなど

高音側音色：11 パイプオルガン2など

スプリットポイント：B2

作曲：K. Reid & G. Brooker

The musical score is presented in two systems. The first system contains four measures with chords C, Am, F, and Dm. The second system contains five measures with chords G, Em, C, F, and G. The bass line is a simple bass line, and the treble line is a melodic line. A 'gtr' marking is present under the first measure of the top system.

TRO-C Copyright 1967 by WESTMINSTER MUSIC LTD., London, England.

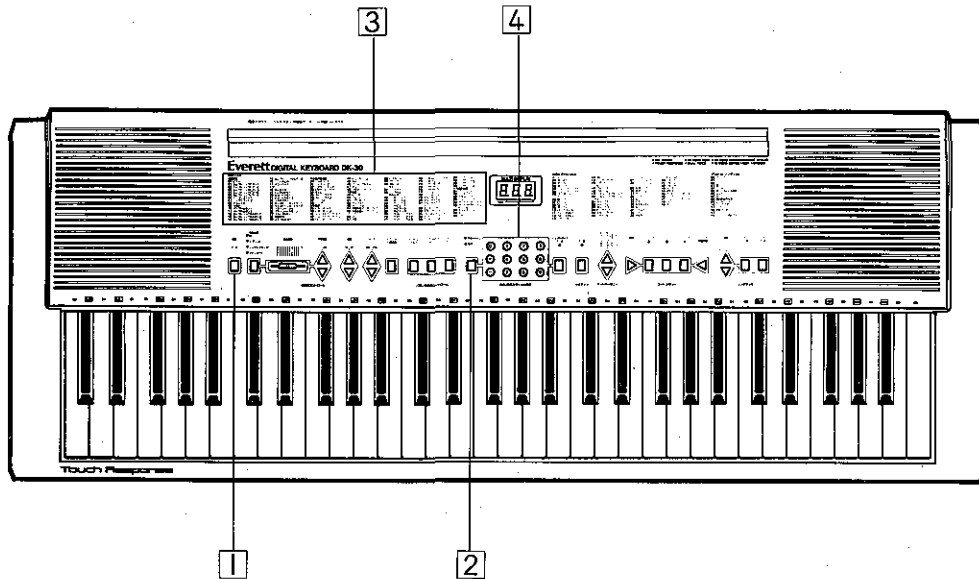
Rights for Japan controlled by TRO Essex Japan Ltd., Tokyo Authorized for sale in Japan only.

日本音楽著作権協会(出)許諾第9360054-301号

※セッティングで示したように06 ロック1などのリズムを鳴らすと、さらに楽しくなります。リズムの設定方法は次ページをご覧ください。

6. リズムに合わせて弾く

DK-30には50種類の伴奏スタイルがあります。いろいろなスタイルに切り替えて、リズムに合わせて弾いてみましょう。



1 電源を入れる



電源(入/切)ボタンを押して電源を入れます。

2 音色ランプの点灯確認

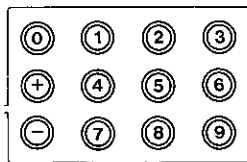


音色ランプが点灯していることを確認します。
伴奏スタイルランプが点灯している時は、伴奏スタイル/音色切替ボタンを押して、音色ランプを点灯させます。

3 音色番号の確認

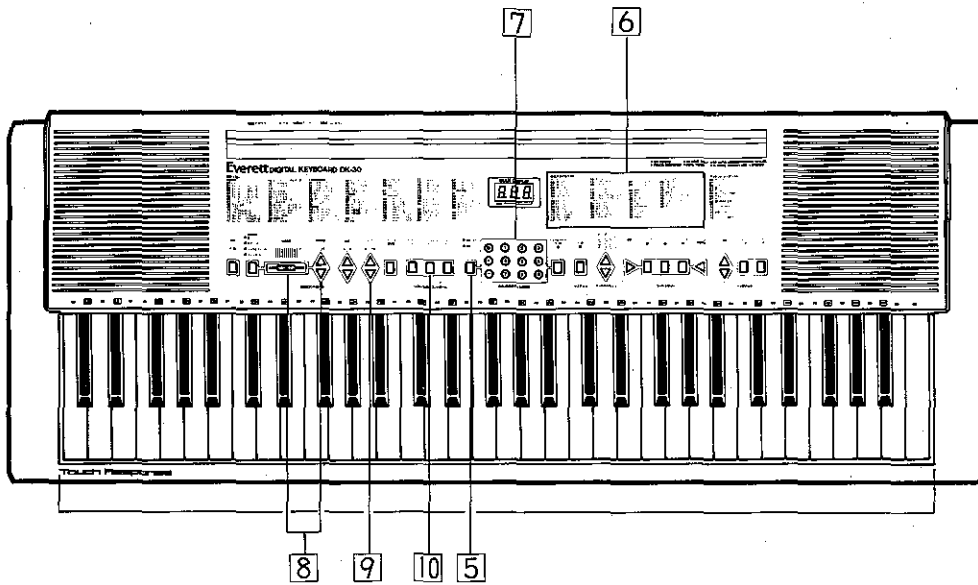
音色リストの中から、演奏に使う音色を見つけます。

4 音色の指定



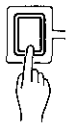
音色/伴奏スタイルの選択

音色/伴奏スタイルの選択ボタンで、演奏に使う音色を指定します。
※電源を入れた直後は、音色番号00のピアノの音色になっています。



5 伴奏スタイルランプを点灯させる

● 伴奏スタイル
○ 音色



伴奏スタイル/音色切替ボタンを押して、伴奏スタイルランプを点灯させます。

6 伴奏スタイル番号の確認

伴奏スタイルリストの中から、曲に合うスタイルを見つけます。

7 伴奏スタイルの指定

指定の方法には2種類あります。

※電源を入れた直後は、スタイル番号00のダンス1になっています。

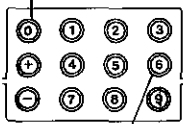
1~0ボタンで指定する場合

例)伴奏スタイル番号06のロック1を指定する

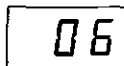
10の位のボタンを押したうえで、1の位のボタンを押します。

※10の位の入力の時、誤って5~9ボタンを押しても無視されます。

0ボタンを押して、



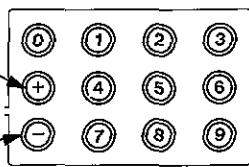
次に6を押す。



十、一ボタンで指定する場合

大きい番号のスタイルになる

小さい番号のスタイルになる

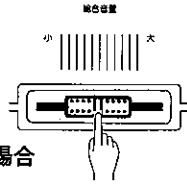


+ボタンを押すと1大きい番号のスタイルになり、-ボタンを押すと1小さい番号のスタイルになります。

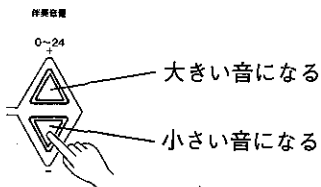
押し続けると連続して変わります。

8 音量調節

手弾き音とリズム音の両音量を調節する場合



リズム音の音量のみ調節する場合



総合音量レバーで調節します。

伴奏音量ボタンで調節します。

+または-ボタンを押すと、現在値が表示されます。表示されている間に+ボタンを押すと1段階大きい音になり、-ボタンを押すと1段階小さい音になります。

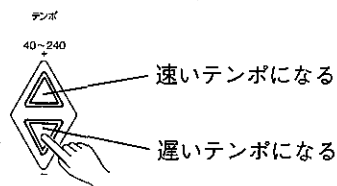
押し続けると連続して変わります。

※電源を入れた直後は、標準の21の大きさになっています。

※+ボタンと-ボタンを同時に押すと、標準の21の大きさに戻ります。

※表示を"0"にしても、小さい音でリズム音が聞こえます。

9 テンポの調節



リズムの速さをテンポボタンで調節します。演奏しやすい速さに調節してください。

+または-ボタンを押すと、現在値が表示されます。表示の数値は1分間あたりの♪の数です。表示されている間に+ボタンを押すと1段階速いテンポになり、-ボタンを押すと1段階遅いテンポになります。

押し続けると連続して変わります。

※リズム停止中に伴奏スタイルを指定した時、テンポは指定したスタイルの標準テンポにセットされます。

※+ボタンと-ボタンを同時に押すと、そのスタイルの標準テンポに戻ります。

10 スタート

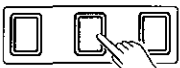
イントロのパターンからスタートさせる場合

イントロ/ シンクロスタート/ スタート
フィルイン/ エンディング/ ストップ



押鍵と共にスタートさせる場合

イントロ/ シンクロスタート/ スタート
フィルイン/ エンディング/ ストップ



すぐにスタートさせる場合

イントロ/ シンクロスタート/ スタート
フィルイン/ エンディング/ ストップ



リズムをスタートさせます。3つの方法がありますので、曲調や好みに合わせてお選びください。

イントロ/フィルインボタンを押します。

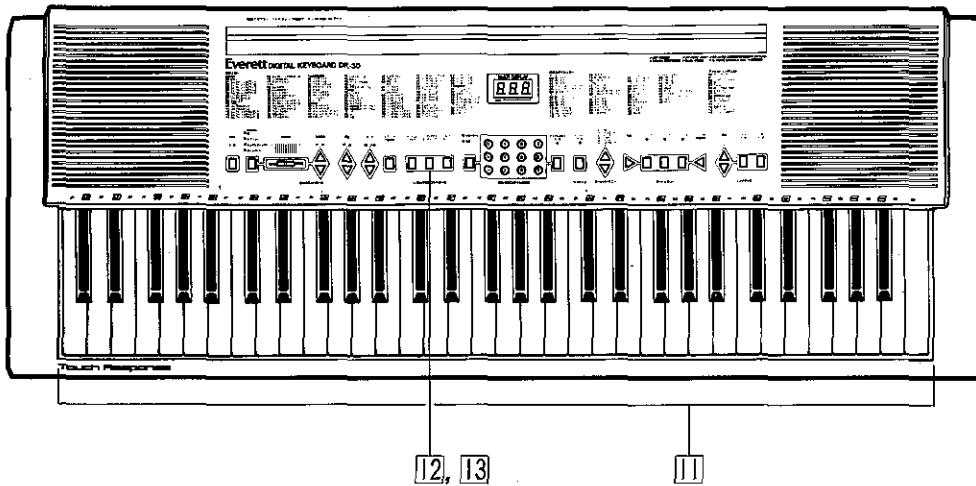
※イントロ/フィルインボタンを押し続けるとイントロパターンが繰り返され、ボタンを離すと次の小節から基本パターンになります。

①シンクロスタート/エンディングボタンを押すと、マルチディスプレイのビート表示は、3つ同時に拍ごとに点滅します。

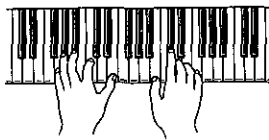
②鍵盤を弾きます。

スタート/ストップボタンを押します。

※シンクロスタート待機状態であっても、スタート/ストップボタンを押すとすぐにスタートします。

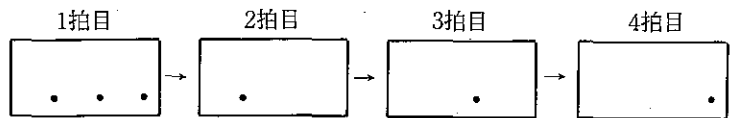


11 演奏



弾いてみましょう。

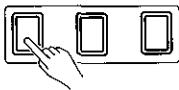
※スタート後は、マルチディスプレイ内の点が左から順に次のように点灯移動します。



3拍子系のスタイルでは、3拍目の点灯後1拍目に戻ります。

12 フィルイン

イントロ/ フィルイン シンクロスタート/ エンディング スタート/ ストップ



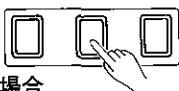
イントロ/フィルインボタンを押すことにより、フィルインのパターンを入れることができます。

※イントロ/フィルインボタンを押し続けるとフィルインパターンが繰り返され、ボタンを離すと次の小節から基本パターンになります。

13 ストップ

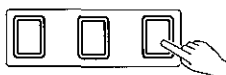
エンディングのパターンで停止させる場合

イントロ/ フィルイン シンクロスタート/ エンディング スタート/ ストップ



すぐに停止させる場合

イントロ/ フィルイン シンクロスタート/ エンディング スタート/ ストップ



リズムは止めるまで鳴ります。2つの方法がありますので、曲調や好みに合わせてお選びください。

シンクロスタート/エンディングボタンを押します。

※エンディングのパターンで停止します。

※エンディングのパターン中にイントロ/フィルインボタンを押すとフィルインのパターンに変わり、その後基本パターンで継続されます。

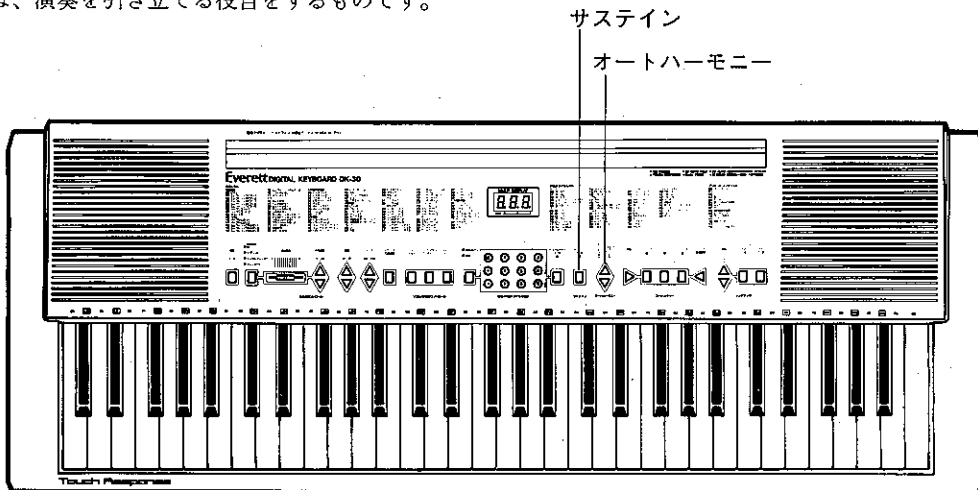
スタート/ストップボタンを押します。

※いろいろなスタイルに切り替えて弾いてみましょう。

※演奏中、別のスタイルに切り替えることもできます。この場合、スタイル指定を終えた次の小節から、新しいスタイルに切り替わります。なお、スタイルを切り替えても、切り替え前のテンポが維持されます。

7. 演奏に効果を加える(サステイン、オートハーモニー)

DK-30には、サステイン、オートハーモニーという2つの効果があります。これらは、演奏を引き立てる役目をするものです。

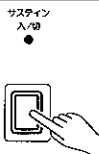


●サステイン

サステインは、手弾き音に余韻を与える効果です。

●オートハーモニー

オートハーモニーは、手弾き音に厚みを与える効果です。サビなどのかんじんな所で入にすると、メリハリが付いて効果的です。



サステイン(入/切)ボタンを押してランプを点灯させると効果が入になり、余韻がつくようになります。もう一度押すと、効果が切になります。

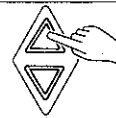
- ※余韻の長さは音色ごとに異なります。
- ※伴奏(リズム、ベース、コード)音には、この効果はかかりません。
- ※伴奏音やプリセットソングを鳴らすと、サステインの余韻が短くなる場合があります。
- ※スプリットの状態の時は、高音側、低音側別々にサステインの入/切を設定できます。

高音側の設定

- ①スプリットの状態にします。
- ②高音側のいずれかの鍵盤を押します。
- ③サステインを入または切にします。

低音側の設定

- ①スプリットの状態にします。
- ②低音側のいずれかの鍵盤を押します。
- ③サステインを入または切にします。



オートハーモニー

オートハーモニー切替ボタンを押して、希望する効果を指定します。希望する効果の番号を表示させてください。

- 00(表示はH00)：切
オートハーモニー効果はかかりません。電源を入れた直後はこの状態です。
 - 01(表示はH01)：デュエット
2音のハーモニーになります。(手弾き音よりも音程の低い音が1音ずつ付加されます。)
 - 02(表示はH02)：トリオ
3音のハーモニーになります。(手弾き音よりも音程の低い音が2音ずつ付加されます。)
 - 03(表示はH03)：ブロック
ジャズ風のハーモニーになります。(ブロックコードで演奏した時のようになります。)
 - 04(表示はH04)：カントリー
カントリー調のハーモニーになります。(手弾き音よりも音程の高い音が1音ずつ付加されます。)
 - 05(表示はH05)：オクターブ
1オクターブ下と2オクターブ下の音が付加されたハーモニーになります。
- ※手弾き音の最高音のみにハーモニー音が付加されます。
- ※シングルフィンガーまたはフィンガードの状態でもコードを指定すると、コードに合わせてハーモニーが発音されます。プリセットソングまたはコードメモリーの再生時には、再生のコード進行に合わせてハーモニーが発音されます。スプリットの状態の時は、低音側押鍵に対してコード検出がフィンガード時と同じように行われ、そのコードに合わせてハーモニーが発音されます。それ以外は、コードCとしてハーモニーが発音されます。
- ※伴奏(リズム、ベース、コード)音とスプリット時の低音側の音には、この効果はかかりません。また、デュアルを入にした時のもう一方の音色にも、この効果はかかりません。
- ※プリセットソングのメロディのオートハーモニー効果を、オートハーモニー切替ボタンで切り替えることはできません。
- ※音色を切り替えても、切り替え前に入の状態になっていれば入を維持し、切になっていれば切を維持します。
- ※01~04の効果指定した場合は、コードを変えると、そのコードと右手の最高音に合わせて、ハーモニー音が再発音されます。
- ※+ボタンと-ボタンを同時に押すと、00：切の状態になります。

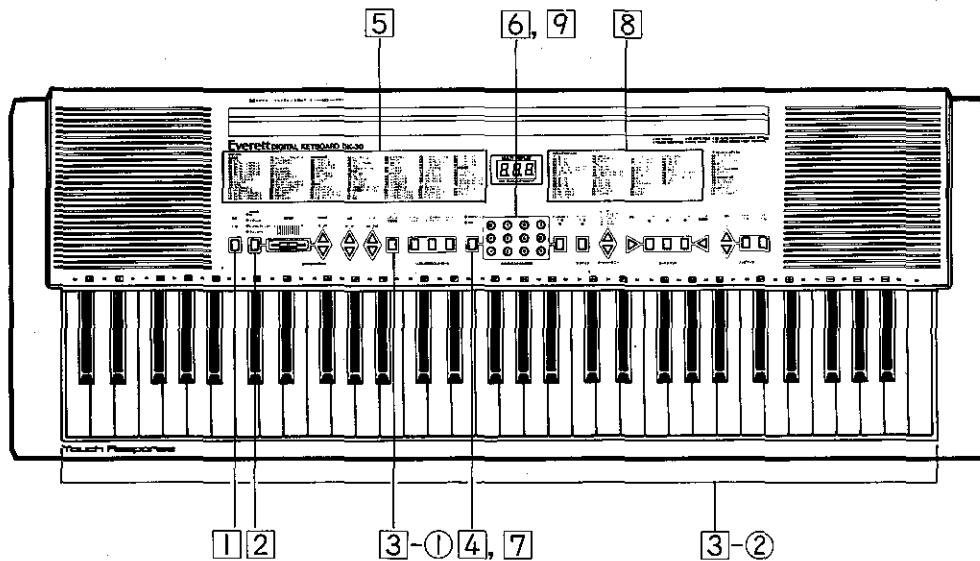
8. リズム、ベース、コード(自動伴奏)に合わせて弾く

DK-30には、自動伴奏できる機能としてシングルフィンガーとフィンガードがあります。左手(低音側)でコードを押さえるだけで、リズムに合わせてベース音とコード音が自動的に鳴ります。

ですから、あとは右手でメロディを弾けば、楽しく演奏できてしまうわけです。

シングルフィンガーコードで楽々演奏

シングルフィンガー機能を使うと、通常のコードの押さえ方をしなくても大丈夫です。コードの押さえ方を良く知らないという人や、なれていない人でもこの機能を使えば簡単に演奏できます。たとえばメジャーコードなら指1本で、その他のコードでも2,3鍵押さえるだけでOKです。



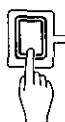
1 電源を入れる



電源(入/切)ボタンを押して電源を入れます。

2 シングルフィンガーの状態にする

- 自動伴奏
- スプリット
- シングルフィンガー
- フィンガード



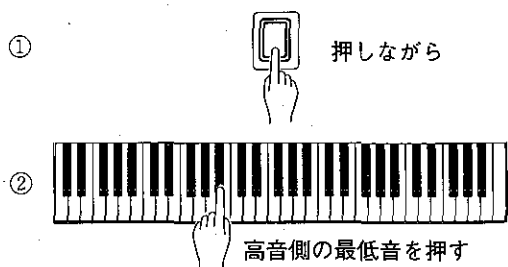
自動伴奏(切/スプリット/シングルフィンガー/フィンガード)切替ボタンを押して、シングルフィンガーのランプを点灯させます。

※この状態にすると、自動的に演奏待機状態(鍵盤を押すと同時にリズムもスタートする状態)になり、マルチディスプレイのビート表示は、3つ同時に拍ごとに点滅します。

※自動伴奏切替を行うと、鍵盤、MIDIからの発音は一度止まります。

3 スプリット位置の指定

スプリット
位置の境

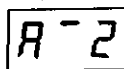


スプリット位置切替ボタンを押すと、マルチディスプレイに低音側と高音側の境が表示されます。必要であれば、次の方法で、低音側と高音側の境を変更します。

- ①スプリット位置切替ボタンを押しながら、
- ②高音側の最低音の鍵盤を押します。

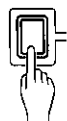
例)A¹₂をスプリット位置にした時の表示

'を意味する



4 音色ランプの点灯確認

● 伴奏スタイル
○ 音色



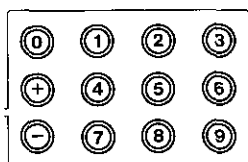
音色ランプが点灯していることを確認します。

伴奏スタイルランプが点灯している時は、伴奏スタイル/音色切替ボタンを押して、音色ランプを点灯させます。

5 音色番号の確認

音色リストの中から、手弾き音に使う音色を見つけます。

6 音色の指定



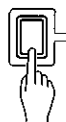
音色/伴奏スタイルの選択

音色/伴奏スタイルの選択ボタンで、手弾き音(右手演奏音)に使う音色を指定します。

※電源を入れた直後は、音色番号00のピアノの音色になっています。

7 伴奏スタイルランプを点灯させる

● 伴奏スタイル
○ 音色

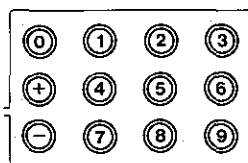


伴奏スタイル/音色切替ボタンを押して、伴奏スタイルランプを点灯させます。

8 伴奏スタイル番号の確認

伴奏スタイルリストの中から、曲に合うスタイルを見つけます。

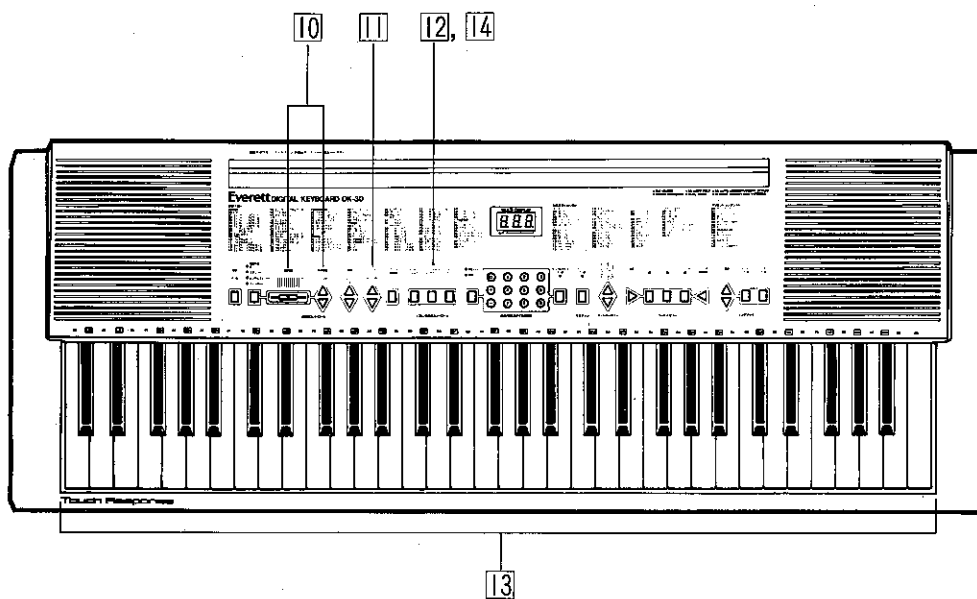
9 伴奏スタイルの指定



音色/伴奏スタイルの選択

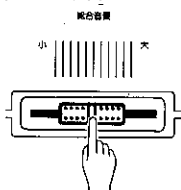
音色/伴奏スタイルの選択ボタンを押して、演奏に使うスタイルを指定します。

※電源を入れた直後は、スタイル番号00のダンス1になっています。

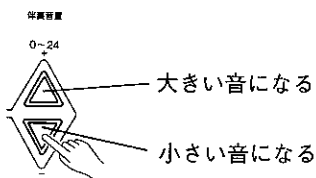


10 音量調節

手弾き音とリズム音の両音量を調節する場合



伴奏音の音量のみ調節する場合



総合音量レバーで調節します。

伴奏音量ボタンで調節します。

+または-ボタンを押すと、現在値が表示されます。表示されている間に+ボタンを押すと1段階大きい音になり、-ボタンを押すと1段階小さい音になります。

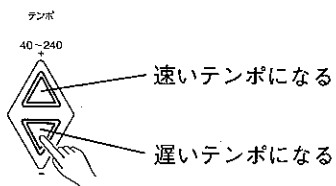
押し続けると連続して変わります。

※電源を入れた直後は、標準の21の大きさになっています。

※+ボタンと-ボタンを同時に押すと、標準の21の大きさに戻ります。

※表示を"0"にしても、小さい音で伴奏音が聞こえます。

11 テンポの調節



リズムの速さをテンポボタンで調節します。演奏しやすい速さに調節してください。

+または-ボタンを押すと、現在値が表示されます。表示されている間に+ボタンを押すと1段階速いテンポになり、-ボタンを押すと1段階遅いテンポになります。

押し続けると連続して変わります。

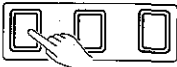
※伴奏スタイルを指定した時、指定したスタイルの標準テンポになります。

※+ボタンと-ボタンを同時に押すと、そのスタイルの標準テンポに戻ります。

12 スタート方法を変更する場合は……

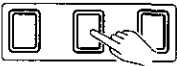
イントロのパターンからスタートさせる場合

イントロ/ フィルイン シンクロスタート/ スタート
フィルイン エンディング ストップ



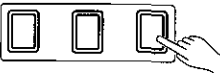
演奏待機状態を解除する場合

イントロ/ シンクロスタート/ スタート
フィルイン エンディング ストップ



リズムのみ先にスタートさせる場合

イントロ/ シンクロスタート/ スタート
フィルイン エンディング ストップ



イントロ/フィルインボタンを押します。

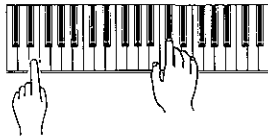
※イントロ/フィルインボタンを押し続けるとイントロパターンが繰り返され、ボタンを離すと次の小節から基本パターンになります。

※イントロパターンは、リズム音のみです。

シンクロスタート/エンディングボタンを押すことにより、演奏待機状態を解除できます。もう一度押すと、演奏待機状態に戻ります。

スタート/ストップボタンを押します。

13 演奏



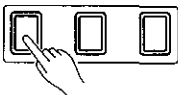
好きな曲を弾いてみましょう。リズム、ベース、コード音は、低音側を弾いた時点から鳴り出します。

※演奏待機状態を解除した場合は、イントロ/フィルインまたはスタート/ストップボタンを押すまで伴奏は始まりません。この状態は、伴奏無しでオートハーモニーを使いたい場合に有効です。(オートハーモニーについては34ページ参照)

※低音側の鍵盤の押し方は、40～42ページ参照。

14 フィルイン

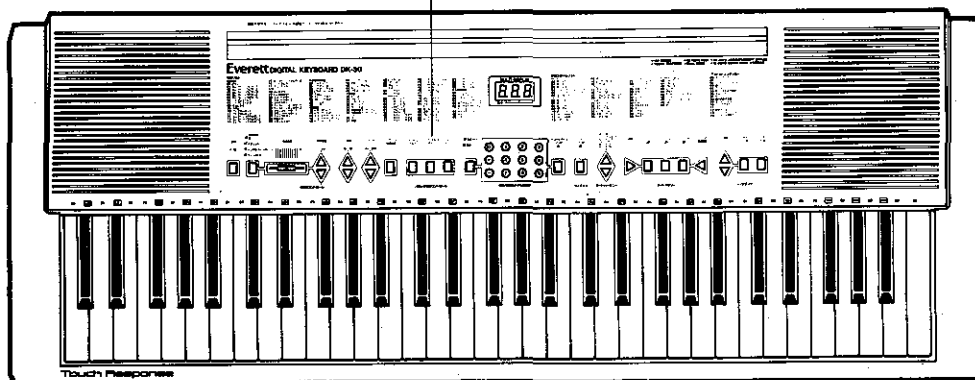
イントロ/ シンクロスタート/ スタート
フィルイン エンディング ストップ



イントロ/フィルインボタンを押すことにより、フィルインのパターンを入れることができます。

※イントロ/フィルインボタンを押し続けるとフィルインパターンが繰り返され、ボタンを離すと次の小節から基本パターンになります。

15



15 ストップ

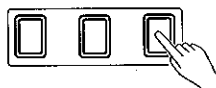
エンディングのパターンで停止させる場合

イントロ/ フィルイン シンクロスタート/ エンディング スタート/ ストップ



すぐに停止させる場合

イントロ/ フィルイン シンクロスタート/ エンディング スタート/ ストップ



自動伴奏は止めるまで鳴ります。2つの方法がありますので、曲調や好みに合わせてお選びください。

シンクロスタート/エンディングボタンを押します。

※エンディングのパターンで停止します。

※エンディングのパターン中にイントロ/フィルインボタンを押すとフィルインのパターンに変わり、その後基本パターンで継続されます。

スタート/ストップボタンを押します。

※いろいろなスタイルに切り替えて弾いてみましょう。

※演奏中、別のスタイルに切り替えることもできます。なお、スタイルを切り替えても、切り替え前のテンポが維持されます。

※スプリット位置は、スプリット、シングルフィンガー、フィンガードの状態別に指定できます。

※電源アダプターを外したり、乾電池を抜く、または初期化すると、スプリット位置は初期状態のD₂になります。(初期化については68ページ参照)

★シングルフィンガー状態での低音側の鍵盤の押し方

メジャーコードの場合

根音の鍵盤を押します。たとえばコードCの場合なら、



どちらかのCの鍵盤を押します。

マイナーコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の黒鍵(どれでもよい)を同時に押します。たとえばコードCmの場合なら、



のように押します。

セブンスコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の白鍵(どれでもよい)を同時に押します。たとえばコードC7の場合なら、



のように押します。

マイナーセブンスコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の白鍵(どれでもよい)と黒鍵(どれでもよい)を同時に押します。たとえばコードCm7の場合なら、



のように押します。

※コードを変える時、指を鍵盤から離さないで動かすと、コードが思いどおりに変わらないことがあります。鍵盤から指を一旦離した上で、次の鍵盤を押すようにしてください。

※低音側の鍵盤から指を離しても、そのコードの伴奏が続きます。つまり低音側の鍵盤は、コードを変える時だけ押せばOKです。

※低音側の鍵盤であれば、根音をどのオクターブの鍵盤で押しても、コード検出されます。

※コード変更は拍単位で検出されます。

※ベースパート、コードパートの発音中にコード変更すると、それぞれ再発音されます。

ベースパートはフレーズに関係なく、コードのルート音が発音されます。

※左記のコード以外は、次のように置き換えて押してください。

- ・Maj7(メジャー セブンス)
 - ・aug(オーギュメント)
 - ・6th(シックス)
 - ・sus4(サスフォー)
- } → メジャーコード

・m7-5(マイナー セブンス フラット ファイブ) → マイナーセブンスコード

・m6(マイナー シックス) → マイナーコード

・7sus4(セブンス サスフォー)

・7-5(セブンスフラット ファイブ)

} → セブンスコード

●シングルフィンガーコード一覧表

メジャー コード

そのコード名の鍵盤を押します。

C	
C [#] /D ^b	
D	
D [#] /E ^b	
E	
F	
F [#] /G ^b	
G	
G [#] /A ^b	
A	
A [#] /B ^b	
B	

検出できるシングルフィンガーコードの一覧表です。

これら以外のコードは、前ページで示したように置き換えて押してください。

※押さえ方が2種類あるコードの場合は、片方の押さえ方の方にカッコマークが付いています。

マイナー コード

そのコード名の鍵盤と、左の黒鍵を同時に押します。

Cm	
C [#] m/D ^b m	
Dm	
D [#] m/E ^b m	
Em	
Fm	
F [#] m/G ^b m	
Gm	
G [#] m/A ^b m	
Am	
A [#] m/B ^b m	
Bm	

セブンス コード

そのコード名の鍵盤と、左の白鍵を同時に押します。

C ₇	
C [#] ₇ /D ^b ₇	
D ₇	
D [#] ₇ /E ^b ₇	
E ₇	
F ₇	
F [#] ₇ /G ^b ₇	
G ₇	
G [#] ₇ /A ^b ₇	
A ₇	
A [#] ₇ /B ^b ₇	
B ₇	

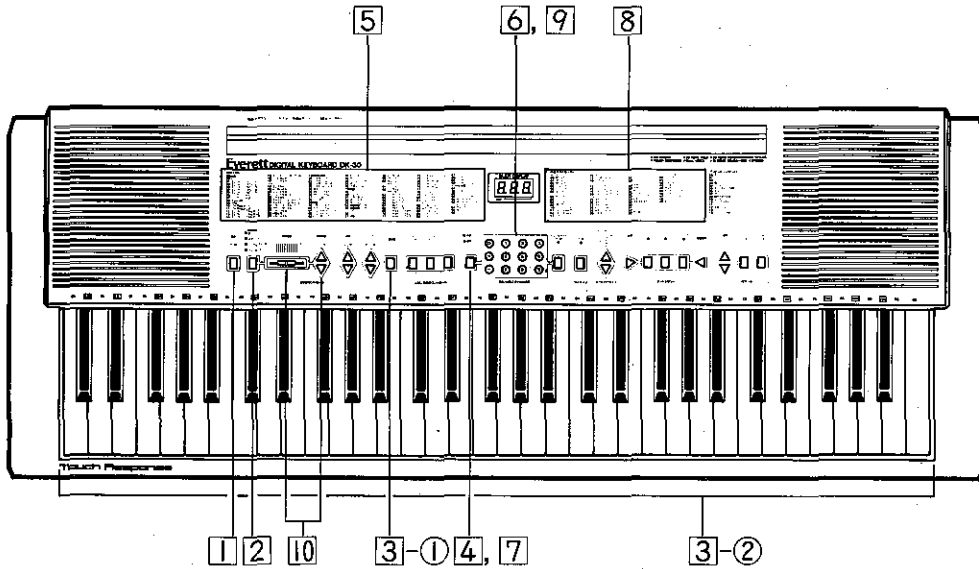
マイナー セブンス コード

そのコード名の鍵盤と、左の黒鍵と白鍵を同時に押します。

Cm ₇	
C [#] m ₇ /D ^b m ₇	
Dm ₇	
D [#] m ₇ /E ^b m ₇	
Em ₇	
Fm ₇	
F [#] m ₇ /G ^b m ₇	
Gm ₇	
G [#] m ₇ /A ^b m ₇	
Am ₇	
A [#] m ₇ /B ^b m ₇	
Bm ₇	

■フィンガードコードで演奏

一般的なコードの押さえ方を知っている方は、むしろこの機能を使う方が簡単かも知れません。また、この機能を使った場合は、シングルフィンガーの機能を使った場合に比べて、より多くのコードを使い分けることができるため、演奏しようとする曲が持つ本来の微妙な雰囲気表現しやすくなります。



1 電源を入れる



電源(入/切)ボタンを押して電源を入れます。

2 フィンガードの状態にする



自動伴奏(切/スプリット/シングルフィンガー/フィンガード)切替ボタンを押して、フィンガードのランプを点灯させます。

※この状態にすると、自動的に演奏待機状態(低音側の鍵盤でコードが成立すると、伴奏もスタートする状態)になり、マルチディスプレイのピート表示は、3つ同時に拍ごとに点滅します。

※自動伴奏切替を行うと、鍵盤、MIDIからの発音は一度止まります。

3 スプリット位置の指定

スプリット位置切替



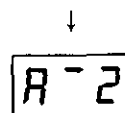
スプリット位置切替ボタンを押すと、マルチディスプレイに低音側と高音側の境が表示されます。必要であれば、次の方法で、低音側と高音側の境を変更します。

①スプリット位置切替ボタンを押しながら、

②高音側の最低音の鍵盤を押します。

例)A[♯]2をスプリット位置にした時の表示

'を意味する



4 音色ランプの点灯確認

○ 伴奏スタイル
● 音色



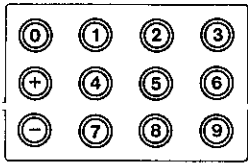
音色ランプが点灯していることを確認します。

伴奏スタイルランプが点灯している時は、伴奏スタイル/音色切替ボタンを押して、音色ランプを点灯させます。

5 音色番号の確認

音色リストの中から、手弾き音に使う音色を見つけます。

6 音色の指定



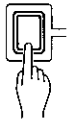
音色/伴奏スタイルの選択

音色/伴奏スタイルの選択ボタンで、手弾き音(右手演奏音)に使う音色を指定します。

※電源を入れた直後は、音色番号00のピアノの音色になっています。

7 伴奏スタイルランプを点灯させる

● 伴奏スタイル
○ 音色

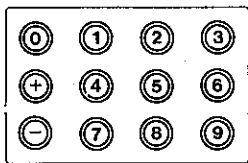


伴奏スタイル/音色切替ボタンを押して、伴奏スタイルランプを点灯させます。

8 伴奏スタイル番号の確認

伴奏スタイルリストの中から、曲に合うスタイルを見つけます。

9 伴奏スタイルの指定



音色/伴奏スタイルの選択

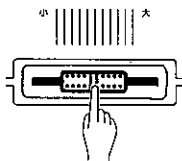
音色/伴奏スタイルの選択ボタンを押して、演奏に使うスタイルを指定します。

※電源を入れた直後は、スタイル番号00のダンス1になっています。

10 音量調節

手弾き音とリズム音の両音量を調節する場合

総合音量

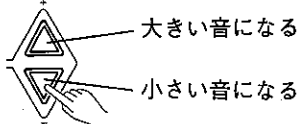


総合音量レバーで調節します。

伴奏音の音量のみ調節する場合

伴奏音量

0~24



大きい音になる

小さい音になる

伴奏音量ボタンで調節します。

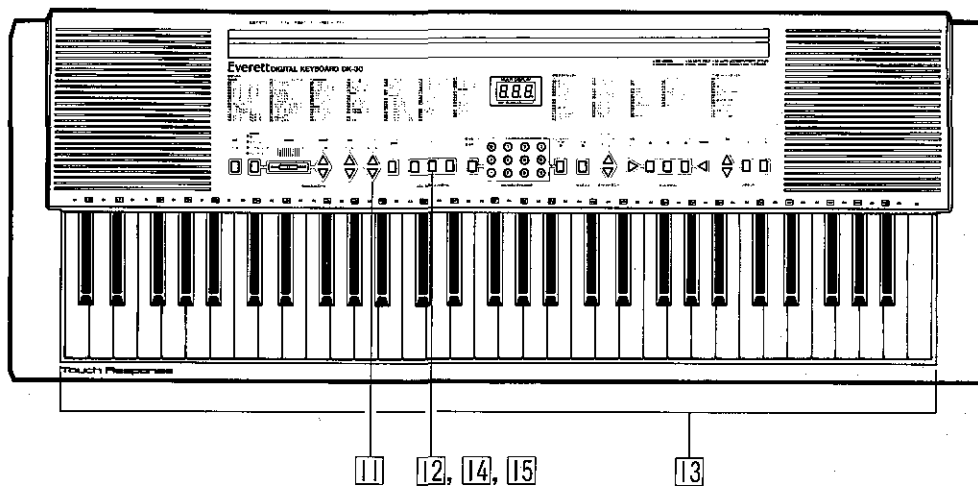
+または-ボタンを押すと、現在値が表示されます。表示されている間に+ボタンを押すと1段階大きい音になり、-ボタンを押すと1段階小さい音になります。

押し続けると連続して変わります。

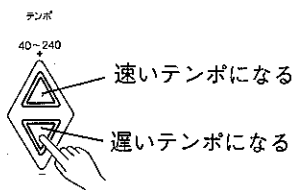
※電源を入れた直後は、標準の21の大きさになっています。

※+ボタンと-ボタンを同時に押すと、標準の21の大きさに戻ります。

※表示を"0"にしても、小さい音で伴奏音が聞こえます。



11 テンポの調節



リズムの速さをテンポボタンで調節します。演奏しやすい速さに調節してください。

+または-ボタンを押すと、現在値が表示されます。表示されている間に+ボタンを押すと1段階速いテンポになり、-ボタンを押すと1段階遅いテンポになります。

押し続けると連続して変わります。

※伴奏スタイルを指定した時は、指定したスタイルの標準テンポになります。
 ※+ボタンと-ボタンを同時に押すと、そのスタイルの標準テンポに戻ります。

12 スタート方法を変更する場合は……

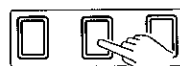
イントロのパターンからスタートさせる場合

イントロ/ フィルイン シンクロスタート/ スタート
 フィルイン エンディング ストップ



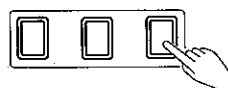
演奏待機状態を解除する場合

イントロ/ シンクロスタート/ スタート
 フィルイン エンディング ストップ



リズムのみ先にスタートさせる場合

イントロ/ シンクロスタート/ スタート
 フィルイン エンディング ストップ



イントロ/フィルインボタンを押します。

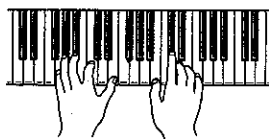
※イントロ/フィルインボタンを押し続けるとイントロパターンが繰り返され、ボタンを離すと次の小節から基本パターンになります。

※イントロパターンは、リズム音のみです。

シンクロスタート/エンディングボタンを押すことにより、演奏待機状態を解除できます。もう一度押すと演奏待機状態に戻ります。

スタート/ストップボタンを押します。

13 演奏



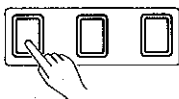
好きな曲を弾いてみましょう。伴奏音はコードを押さえた時点から鳴り出します。

※演奏待機状態を解除した場合は、イントロ/フィルインまたはスタート/ストップボタンを押すまで伴奏は始まりません。この状態は、伴奏無しでオートハーモニーを使いたい場合に有効です。(オートハーモニーについては34ページ参照)

※低音側の鍵盤の押し方は、本ページ下記の文章および47、48ページ参照。

14 フィルイン

イントロ フィルイン シンクロススタート/ストップ
エンディング



イントロ/フィルインボタンを押すことにより、フィルインのパターンを入れることができます。

※イントロ/フィルインボタンを押し続けるとフィルインパターンが繰り返され、ボタンを離すと次の小節から基本パターンになります。

15 ストップ

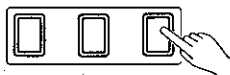
エンディングのパターンで停止させる場合

イントロ フィルイン シンクロススタート/ストップ
エンディング



すぐに停止させる場合

イントロ フィルイン シンクロススタート/ストップ
エンディング



自動伴奏は止めるまで鳴ります。2つの方法がありますので、曲調や好みに合わせてお選びください。

シンクロススタート/エンディングボタンを押します。

※エンディングのパターンで停止します。

※エンディングのパターン中にイントロ/フィルインボタンを押すとフィルインのパターンに変わり、その後基本パターンで継続されます。

スタート/ストップボタンを押します。

※いろいろなスタイルに切り替えて弾いてみましょう。

※演奏中、別のスタイルに切り替えることもできます。なお、スタイルを切り替えても、切り替え前のテンポが維持されます。

※スプリット位置は、スプリット、シングルフィンガー、フィンガードの状態別に指定できます。

※電源アダプターを外したり、乾電池を抜く、または初期化すると、スプリット位置は初期状態のG₂になります。(初期化については68ページ参照)

※低音側の鍵盤から指を離しても、そのコードの伴奏が続きます。つまり低音側の鍵盤は、コードを変える時だけ押せばOKです。

※コードを変える時、鍵盤から指を離さないで動かすと、コードが思いどおりに変わらないことがあります。鍵盤から指を一旦離した上で、次の鍵盤を押すようにしてください。

※フィンガードの場合は、次の13種類のコードを検出できます。その他のコードは、これらのコードに置き換えて押してください。(47、48ページの“フィンガードコード一覧表”を参照)


- ・メジャー
- ・マイナー
- ・セブンス
- ・マイナー セブンス
- ・メジャー セブンス
- ・マイナー メジャー セブンス
- ・オーギュメント(オーギュメント セブンス)
- ・ディミニッシュ(ディミニッシュ セブンス)
- ・サスフォー
- ・マイナー セブンス フラット ファイブ
- ・セブンス フラット ファイブ
- ・マイナー シックス
- ・セブンス サスフォー


※13種類のコード以外や押鍵ミスの場合は、正しい和音で鳴らなくなりません。


※1オクターブ離れた2音を押すと、伴奏音は、メジャーかマイナーかを感じさせないコードになります。


●フィンガードコード一覧表


メジャーコード


C 

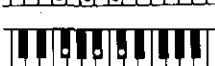
C[♯] (D[♭]) 


D 


D[♯] (E[♭]) 


E 


F 


F[♯] (G[♭]) 

G 


G[♯] (A[♭]) 


A 


A[♯] (B[♭]) 


B 


マイナーコード


Cm 


C[♯]m (D[♭]m) 


Dm 


D[♯]m (E[♭]m) 


Em 


Fm 


F[♯]m (G[♭]m) 

Gm 


G[♯]m (A[♭]m) 


Am 


A[♯]m (B[♭]m) 


Bm 


セブンスコード


C₇ 


C[♯]₇ (D[♭]₇) 


D₇ 


D[♯]₇ (E[♭]₇) 


E₇ 


F₇ 


F[♯]₇ (G[♭]₇) 

G₇ 


G[♯]₇ (A[♭]₇) 


A₇ 


A[♯]₇ (B[♭]₇) 


B₇ 


マイナーセブンスコード


Cm₇ 


C[♯]m₇ (D[♭]m₇) 


Dm₇ 


D[♯]m₇ (E[♭]m₇) 


Em₇ 


Fm₇ 


F[♯]m₇ (G[♭]m₇) 

Gm₇ 


G[♯]m₇ (A[♭]m₇) 


Am₇ 


A[♯]m₇ (B[♭]m₇) 


Bm₇ 


メジャーセブンスコード


CM₇ 


C[♯]M₇ (D[♭]M₇) 


DM₇ 


D[♯]M₇ (E[♭]M₇) 


EM₇ 


FM₇ 


F[♯]M₇ (G[♭]M₇) 

GM₇ 


G[♯]M₇ (A[♭]M₇) 


AM₇ 


A[♯]M₇ (B[♭]M₇) 


BM₇ 

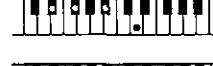
マイナーメジャーセブンスコード


CmM₇ 


C[♯]mM₇ 


DmM₇ 


D[♯]mM₇ 


EmM₇ 


FmM₇ 


F[♯]mM₇ 

GmM₇ 

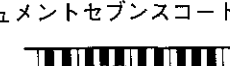
G[♯]mM₇ 


AmM₇ 

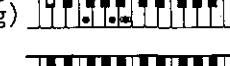
A[♯]mM₇ 


BmM₇ 


オーギュメントコード


Caug 


C[♯]aug (D[♭]aug) 


Daug 


D[♯]aug (E[♭]aug) 


Eaug 


Faug 


F[♯]aug (G[♭]aug) 

Gaug 


G[♯]aug (A[♭]aug) 


Aaug 


A[♯]aug (B[♭]aug) 


Baug 


ディミニッシュコード


Cdim 


C[♯]dim (D[♭]dim) 


Ddim 


D[♯]dim (E[♭]dim) 


Edim 


Fdim 


F[♯]dim (G[♭]dim) 

Gdim 


G[♯]dim (A[♭]dim) 


Adim 


A[♯]dim (B[♭]dim) 


Bdim 


サスフォーコード


Csus₄ 


C[#] sus₄
(D^b sus₄) 


Dsus₄ 


D[#] sus₄
(E^b sus₄) 


Esus₄ 


Fsus₄ 


F[#] sus₄
(G^b sus₄) 

Gsus₄ 


G[#] sus₄
(A^b sus₄) 


Asus₄ 


A[#] sus₄
(B^b sus₄) 


Bsus₄ 


マイナーセブンスフラット
ファイブコード


Cm₇⁻⁵ 


C[#] m₇⁻⁵
(D^b m₇⁻⁵) 


Dm₇⁻⁵ 

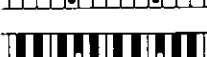
D[#] m₇⁻⁵
(E^b m₇⁻⁵) 


Em₇⁻⁵ 


Fm₇⁻⁵ 


F[#] m₇⁻⁵
(G^b m₇⁻⁵) 

Gm₇⁻⁵ 


G[#] m₇⁻⁵
(A^b m₇⁻⁵) 


Am₇⁻⁵ 


A[#] m₇⁻⁵
(B^b m₇⁻⁵) 


Bm₇⁻⁵ 


セブンスフラットファイブ
コード


C₇⁻⁵ 


C[#]₇⁻⁵
(D^b₇⁻⁵) 


D₇⁻⁵ 

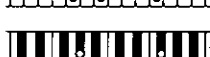
D[#]₇⁻⁵
(E^b₇⁻⁵) 


E₇⁻⁵ 


F₇⁻⁵ 


F[#]₇⁻⁵
(G^b₇⁻⁵) 

G₇⁻⁵ 


G[#]₇⁻⁵
(A^b₇⁻⁵) 


A₇⁻⁵ 


A[#]₇⁻⁵
(B^b₇⁻⁵) 


B₇⁻⁵ 


マイナーシックスコード


Cm₆ 


C[#] m₆
(D^b m₆) 


Dm₆ 


D[#] m₆
(E^b m₆) 


Em₆ 

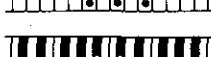
Fm₆ 


F[#] m₆
(G^b m₆) 

Gm₆ 


G[#] m₆
(A^b m₆) 


Am₆ 


A[#] m₆
(B^b m₆) 


Bm₆ 


セブンスサスフォーコード


C₇ sus₄ 


C[#]₇ sus₄
(D^b₇ sus₄) 


D₇ sus₄ 

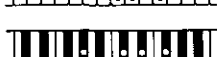
D[#]₇ sus₄
(E^b₇ sus₄) 

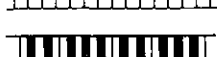
E₇ sus₄ 

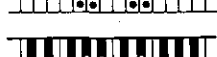
F₇ sus₄ 


F[#]₇ sus₄
(G^b₇ sus₄) 

G₇ sus₄ 


G[#]₇ sus₄
(A^b₇ sus₄) 

A₇ sus₄ 

A[#]₇ sus₄
(B^b₇ sus₄) 

B₇ sus₄ 

※ここに示すものは全て基本形です。

※演奏する曲のコードを確認し、低音側に必要な鍵盤範囲を確保してください。( 付きのコードは、スプリット位置を切り替える必要があります。)

※オーギュメント、ディミニッシュセブンス、マイナーシックスコードは、最低音をルートとします。

シングルフィンガーまたはフィンガードで、「オーラ・リー」を弾いてみましょう。

■練習曲

オーラ・リー

セッティング

アメリカ民謡

伴奏スタイル：15 ロッカバラードなど

テンポ：♩ = 84

音色：51 クラリネットなど

シングルフィンガーコード
フィンガードコード

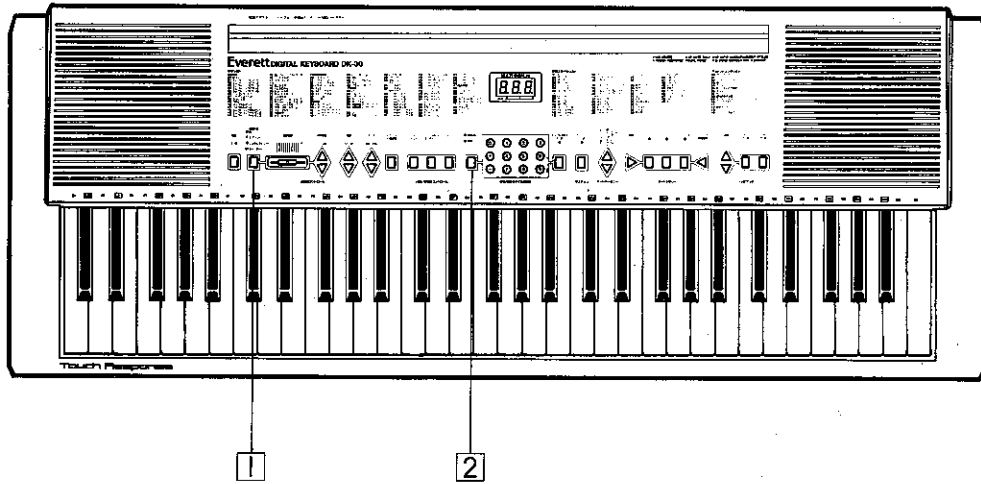
The musical score for 'Aura Lee' is presented in a single system with four staves. The top staff shows the melody line in treble clef, starting with a whole rest followed by a half note G4, then quarter notes A4, B4, C5, B4, A4, G4, and a final whole note G4. Above the melody, single-finger and fingered chord diagrams are provided for each measure. The second staff continues the melody with a half note G4, quarter notes A4, B4, C5, B4, A4, G4, and a final whole note G4. The third staff shows a sequence of chords: C, E7, Am, C7, F, Fm, and C. The fourth staff continues the melody with a half note G4, quarter notes A4, B4, C5, B4, A4, G4, and a final whole note G4. The score concludes with a double bar line.

4. 使いこなしてしまおう

1. 低音側も高音側も2音色で弾く(スプリット+デュアル)

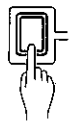
スプリットとデュアルの機能を同時に使うことにより、低音側(左手鍵盤)と高音側(右手鍵盤)別々に2音色割り当てて演奏できます。

※ここでは、電源を入れたり、スプリット位置の切替方法などの詳しい説明は省略します。(26ページ参照)



1 スプリットの状態にする

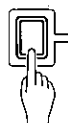
- 自動伴奏
- スプリット
- シングルフィンガー
- フィンガード



自動伴奏(切/スプリット/シングルフィンガー/フィンガード)切替ボタンを押して、スプリットのランプを点灯させます。

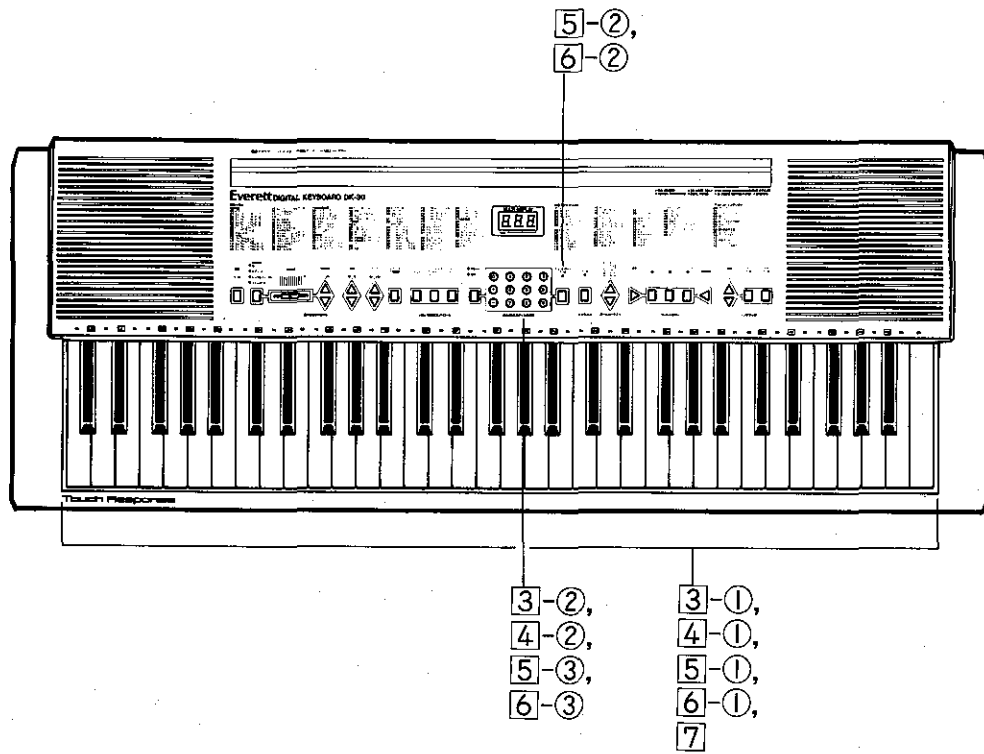
2 音色ランプの点灯確認

- 伴奏スタイル
- 音色



音色ランプが点灯していることを確認します。

伴奏スタイルランプが点灯している時は、伴奏スタイル/音色切替ボタンを押して、音色ランプを点灯させます。



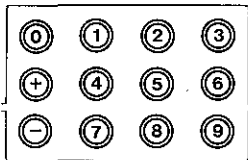
3 高音側の片方の音色指定

①



高音側の鍵盤を押す

②



音色/伴奏スタイルの選択

①高音側のいずれかの鍵盤を押します。

②音色/伴奏スタイルの選択ボタンで、高音側の音色を指定します。(指定した音色の番号が表示されます。)

4 低音側の片方の音色指定

①低音側のいずれかの鍵盤を押します。

②音色/伴奏スタイルの選択ボタンで、低音側の音色を指定します。(指定した音色の番号が表示されます。)

5 高音側のもう一方の音色指定

①



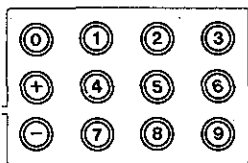
高音側の鍵盤を押す

②

デュアルボイス
入/切



③



音色/伴奏スタイルの選択

①高音側のいずれかの鍵盤を押します。

②デュアルボイス(入/切)ボタンを押してランプを点灯させます。

③音色/伴奏スタイルの選択ボタンで、高音側のもう一方の音色を指定します。(指定した音色の番号が表示されます。)

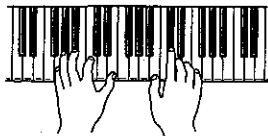
6 低音側のもう一方の音色指定

①低音側のいずれかの鍵盤を押します。

②デュアルボイス(入/切)ボタンを押してランプを点灯させます。

③音色/伴奏スタイルの選択ボタンで、低音側のもう一方の音色を指定します。(指定した音色の番号が表示されます。)

7 演奏



好きな曲を弾いてみましょう。

●どの状態の時にどの音色を指定できるか？

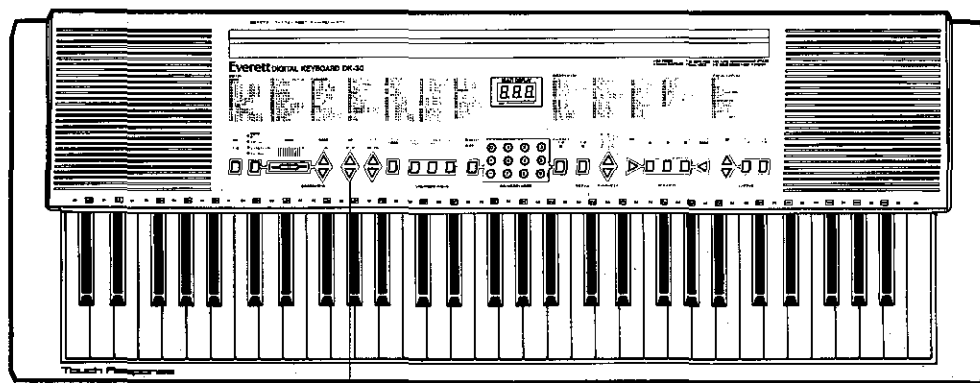
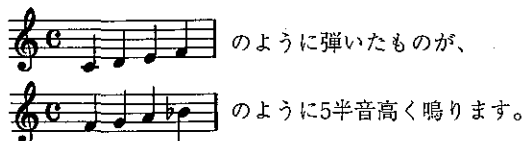
表中のノーマル音色は、1音色の状態にした時に鳴る音色を意味し、デュアル音色は2音色の状態にした時のみ鳴るもう一方の音色を意味します。

	低音側の鍵盤を押した後	高音側の鍵盤を押した後
デュアルボイス入/切 ランプ消灯時	低音側のノーマル音色を指定できる。	高音側のノーマル音色を指定できる。
デュアルボイス入/切 ランプ点灯時	低音側のデュアル音色を指定できる。	高音側のデュアル音色を指定できる。

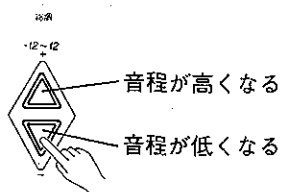
2. 音程を合わせる(移調)

押さえる鍵盤(運指)を変えずに、歌う人の声の高さにキーを合わせる。つまり移調することができます。(弾く高さで発音される音の高さをずらすことができます。)

±12半音(±1オクターブ)の範囲で設定できます。たとえば値を+5にすると、



移調



移調量を移調ボタンで指定します。

+または-ボタンを押すと、現在値が表示されます。表示されている間に+ボタンを1回押すごとに値が1大きくなり、半音高く発音されるようになります。

-ボタンを1回押すごとに値が1小さくなり、半音低く発音されるようになります。

押し続けると値が連続して変わります。

※電源を入れた直後は、標準の0になっています。

※+ボタンと-ボタンを同時に押すと、標準の0に戻ります。

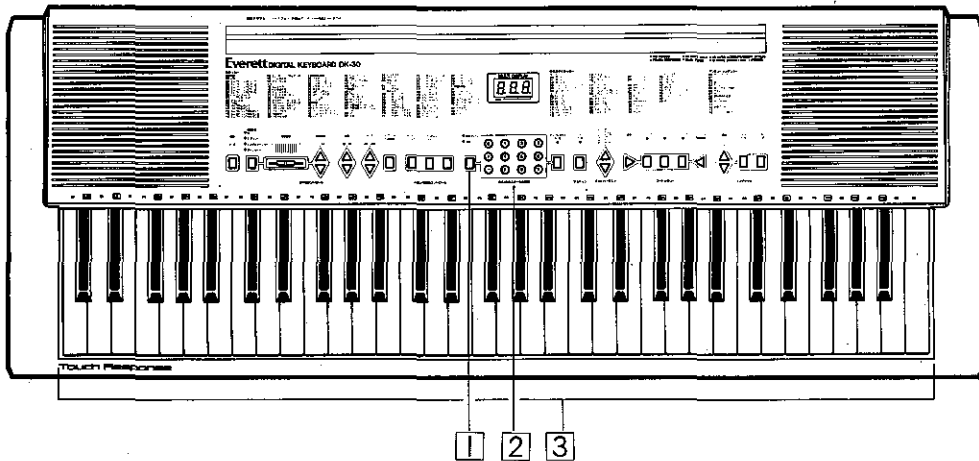
※この機能は、合奏などで弾き方を変えずに他の楽器とキー(調)を合わせる時にも便利です。

※リズム音や音色番号99のドラムス時の音は、移調しません。

3. 打楽器を担当する(音色番号99のドラムスを使う)

音色番号を99のドラムスにすると、打楽器を担当することができます。各黒鍵の上に描かれた25種類の打楽器を、鍵盤を弾いて鳴らすことができます。

※また、声"5"〜クリック(ハイ)の6種類は、MIDI受信した時のみ発音します。



1 音色ランプの点灯確認

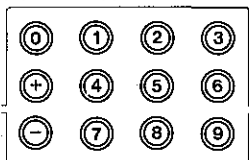
- 伴奏スタイル
- 音色



音色ランプが点灯していることを確認します。

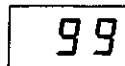
伴奏スタイルランプが点灯している時は、伴奏スタイル/音色切替ボタンを押して、音色ランプを点灯させます。

2 ドラムス音色の指定



音色/伴奏スタイルの選択

音色/伴奏スタイルの選択ボタンで、音色番号を99にします。



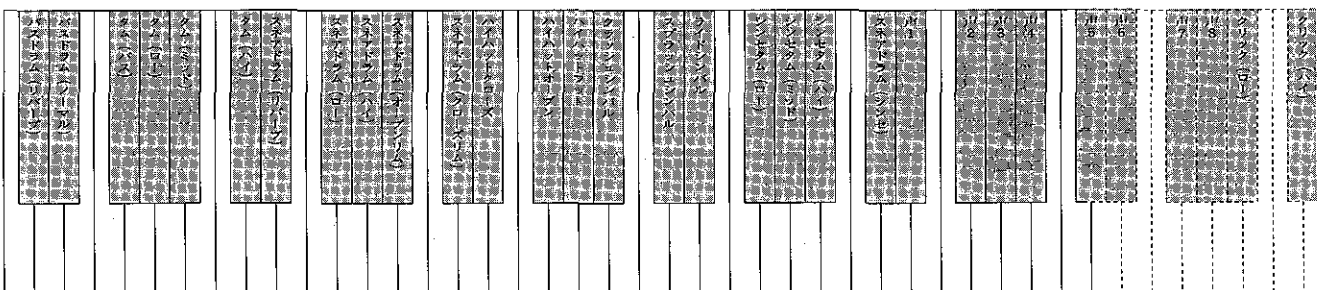
3 打楽器演奏



黒鍵を押してリズム演奏してみましょう。

※白鍵を押しても音は出ません。

※各黒鍵に次のように割り付けられます。



4. コード進行を録音する (コードメモリー)

コード進行(自動伴奏)を録音することができます。録音できるのは、リズムをスタートさせてから停止させるまでの間で、低音側の鍵盤を使って録音します。

コード進行を録音しておけば、後でそれを再生させながらメロディパートを演奏できますが、この時は全鍵盤を使って演奏できません。(高音側の鍵盤でなければならないという鍵盤の制限がありません。)

●コード進行の録音

録音できる内容

コード以外に伴奏スタイル番号、スタートまたはイントロ、フィルイン、ストップまたはエンディングを録音できます。

バンクについて

録音内容を蓄えておくバンクと呼ばれる箱が3つあり、バンク1~

バンク3のように番号が付いています。これらのバンクそれぞれに上記の内容を録音できます。

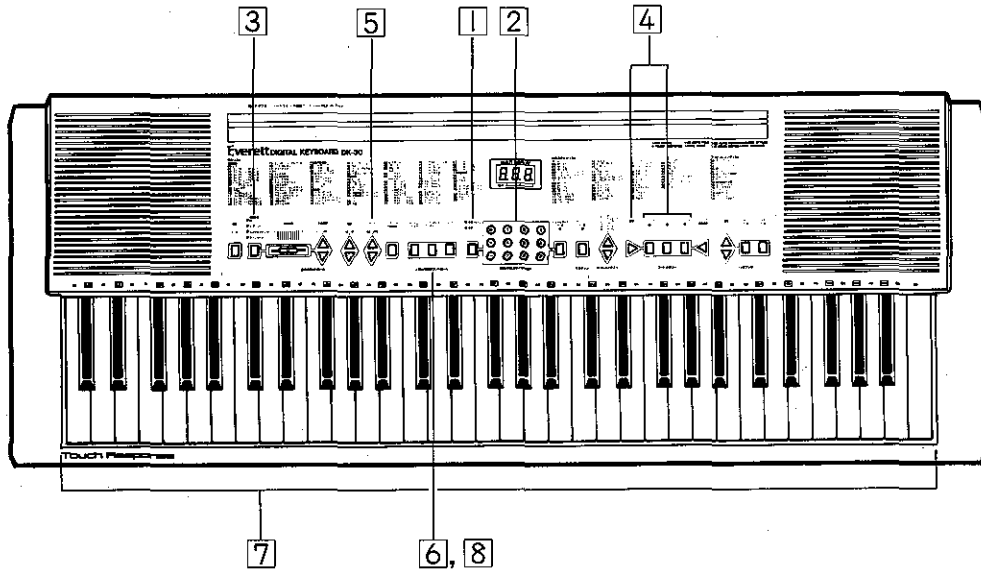
録音可能な長さの目安

1バンクごとに最大60回のコード変更を録音できます。(1小節につき1回コードを変えた場合)

ただし、フィルインを多く使った場合やイントロでリズムだけを鳴らした場合、コードとコードの間隔が様々な曲の場合は、録音可能な回数が減ります。

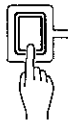
バンクの組み合わせについて

各バンクに異なった曲を録音できます。もちろんバンクの使い方は自由ですが、曲が長くて1つのバンクに収まりきらない場合は、バンク1~バンク3に曲を分割し録音しておけば、後でそれらを連結して1曲にできます。(59ページ参照)



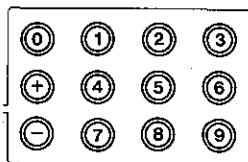
1 伴奏スタイルランプを点灯させる

● 伴奏スタイル
○ 点灯



伴奏スタイル/音色切替ボタンを押して、伴奏スタイルランプを点灯させます。

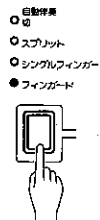
2 伴奏スタイルの指定



音色/伴奏スタイルの選択

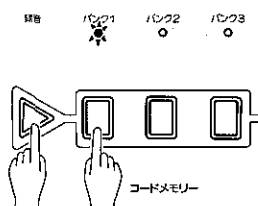
音色/伴奏スタイルの選択ボタンを押して、演奏に使うスタイルを指定します。

3 コード指定の方法を指定



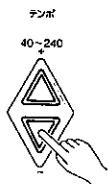
シングルフィンガーで録音するか、フィンガードで録音するか指定します。
※必要であれば、スプリットポイントを変更してください。(36ページ参照)

4 録音待機状態に



録音ボタンを押しながら、バンク1～バンク3いずれかのボタンを押します。
※この操作をした時点で、録音待機状態(コードを押すと同時に録音が始まる状態)になります。
※この操作をした時点で、メトロノーム音が1拍ごとに鳴り出すと共に、マルチディスプレイ内の3つの点が同時に点滅し始めます。
※操作3で自動伴奏ボタンをシングルフィンガーにした場合以外は、この時点で自動的にフィンガードに設定されます。録音待機状態または録音状態になると、シングルフィンガー、フィンガード以外のモードに変えることはできません。
※録音をやめる場合は、録音ボタンまたはシンクロスタート/エンディングボタンを押します。(ここでやめた場合は、前の内容は消えません。)
※自分で録音する前は、バンク1～バンク3にお手本が入っています。自分で録音すると、そのバンク内のお手本は消えます。(録音後お手本の内容に戻したい場合は、68ページの初期化の操作を行ってください。)

5 テンポ調節



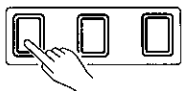
演奏しやすい速さにします。
※再生時に好みのテンポに変えることもできます。

6 リズムのみ先にスタートさせる場合は

最初からリズム、コード、ベースを鳴らさずに、リズムのみ先にスタートさせる場合のみ、どちらかのボタンを押します。ボタンを押した時点から録音が始まります。

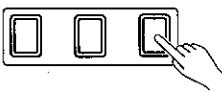
リズムのイントロパターンからスタートさせる場合

イントロ/ フォーリン / スタート
イントロ/ エンディング / スタート



リズムの基本パターンからスタートさせる場合

イントロ/ シンクロスタート/ スタート
イントロ/ エンディング / スタート



7 演奏の開始

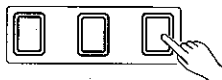
最初のコードを押さえるとリズム、コード、ベース音が鳴り出します。曲の流れに従ってコードを押さえていってください。
※録音中はスタイルを変更することができません。



8 演奏の終了

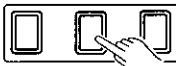
すぐに終了させる場合

イントロ/ シンクロスタート/ スタート
 フォルイン/ エンディング/ ストップ



エンディングパターンで終了させる場合

イントロ/ シンクロスタート/ スタート
 フォルイン/ エンディング/ ストップ



リズムが止まった時点で録音は終了します。

小節の途中でスタート/ストップボタンを押して終了させても、再生時はその小節の終わりまで再生が続きます。その後録音データの頭に戻ってリピート再生されます。

エンディングパターンで終了させると、そのバンクの再生は繰り返されなくなります。

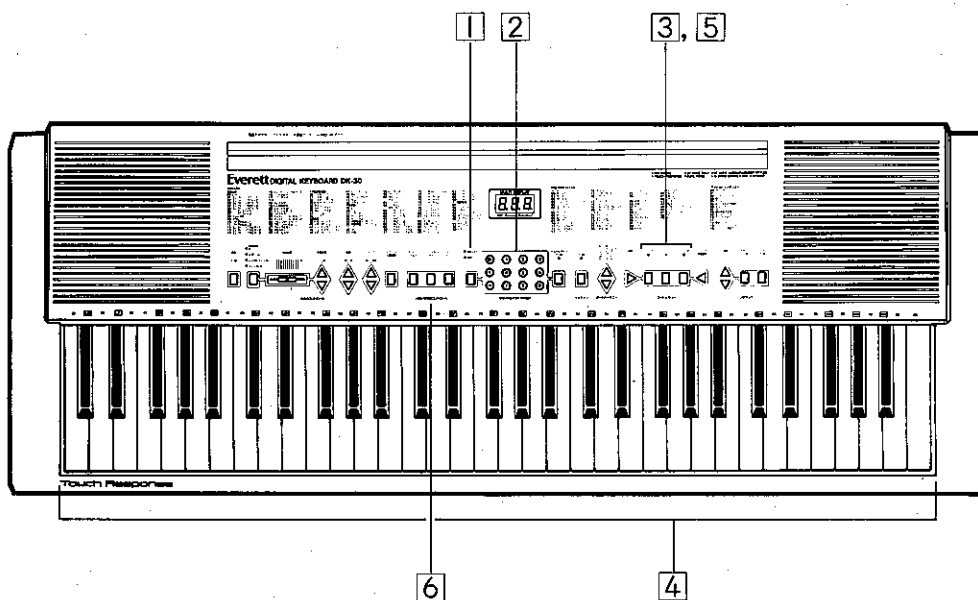
※録音容量が一杯になると、「End」の表示の後、録音が強制的に終了します。ただし「End」表示されるまでのデータは、全て録音されています。

※録音済みのバンクに録音しなおすと、そのバンクの前の内容は消えます。

※電源を切っても、電源アダプターか乾電池がセットされていれば、録音内容は消えずに残ります。

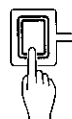
※電源アダプターを外したり、乾電池を抜くと、全てのバンクのコード進行が初期状態になります。(68ページ参照)

●再生



1 音色ランプの点灯確認

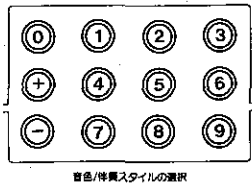
○ 伴奏スタイル
 ● 音色



音色ランプが点灯していることを確認します。

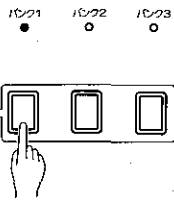
伴奏スタイルランプが点灯している時は、伴奏スタイル/音色切替ボタンを押して、音色ランプを点灯させます。

2 音色の指定



音色/伴奏スタイルの選択ボタンで、手弾き音の音色を指定します。

3 再生の開始

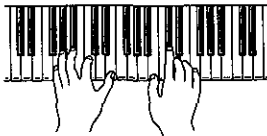


再生させたいバンクのボタンを押します。すると、すぐにそのバンクの再生が始まります。

※再生前に設定されていたテンポで再生が始まります。

※再生状態になると、シングルフィンガー、フィンガードのモードに切り替えることはできません。

4 演奏



再生される伴奏に合わせて、演奏しましょう。

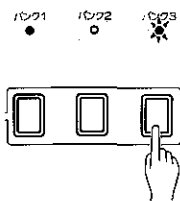
※テンポを変えて再生させることも可能です。

※イントロ/フィルインボタンを押して、フィルインを入れることもできます。

※同時発音数には制限があります。(8ページ参照)

※スプリットやデュアル、サステイン、オートハーモニーなどの機能を使うこともできます。

5 他のバンクのボタンを押すと



他のバンクボタンを押して、他のバンクの再生に移すこともできます。ボタンを押した次の小節から移ります。(次小節まで、押したボタンのランプが点滅します。)

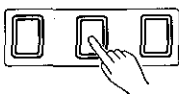
※リズム伴奏時やシングルフィンガー、フィンガードモードでの演奏中に、バンクの再生に移すこともできます。この場合も、テンポはそのまま維持されます。

6 再生の終了

再生は止めるまで繰り返されます。

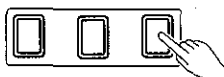
エンディングパターンで終了させる場合

イントロ/ フィルイン シンクロスタート/ エンディング スタート/ ストップ



すぐに終了させる場合

イントロ/ フィルイン シンクロスタート/ エンディング スタート/ ストップ



●バンクの順番設定

バンク1～バンク3を自由に連結させておくことができます。連結させた順序で再生させることが可能になります。

最大連結数は

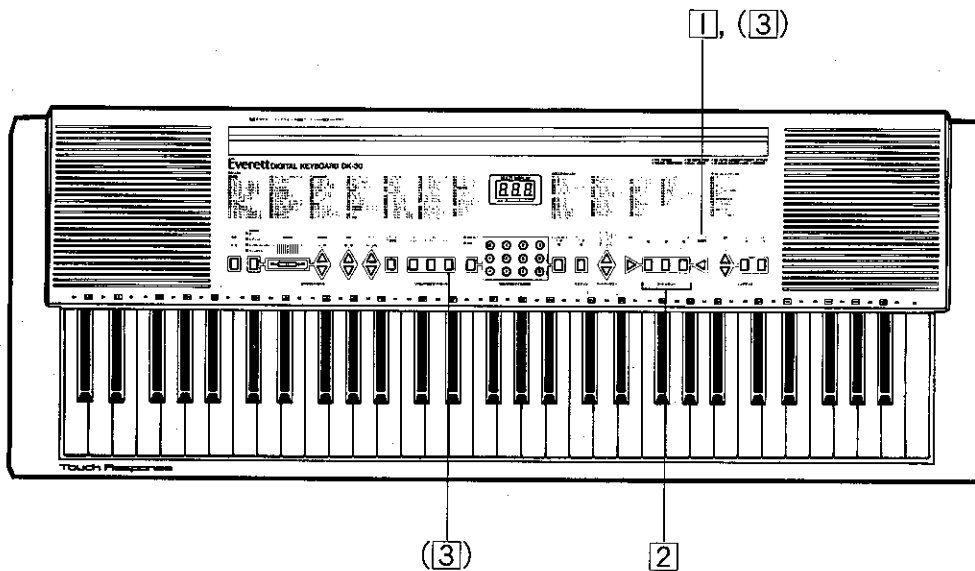
8連結まで可能です。

エンディングで終了させたバンクを連結させると

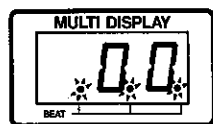
録音の時にエンディングで終了させたバンクを連結させると、再生の際にそのバンクのエンディングで終了してしまいます。

自分で連結させる前はお手本が入っている

最初はお手本が入っています。自分で連結させると、お手本の順番は消えます。



1 バンクの順番設定を可能に

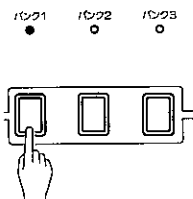


バンクの順番設定ボタンを押します。

※この操作をした時点で、メトロノーム音が1拍ごとに鳴り出すと共に、マルチディスプレイ内の3つの点が同時に点滅し始めます。(連結待機状態です。)

※連結させるのをやめる場合は、もう一度バンクの順番設定ボタンまたはシンクロスタート/エンディングボタンを押します。

2 連結の順番を設定



連結させる順に該当するバンクボタンを押します。

たとえばバンク1ーバンク2ーバンク1ーバンク3の順に連結させる場合は、その順序で押します。

※ボタンを押した時、連結の順番を伝える声があります。(英語で1、2、3、4、……)

※8個を越えると、声がなくなります。(連結は最大8個可能なため)

3 設定の終了

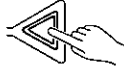
設定の終了と同時に再生させる場合

イントロ/ シンクロスタート/ スタート
フェイルイン エンディング/ ストップ



設定の終了のみさせる場合

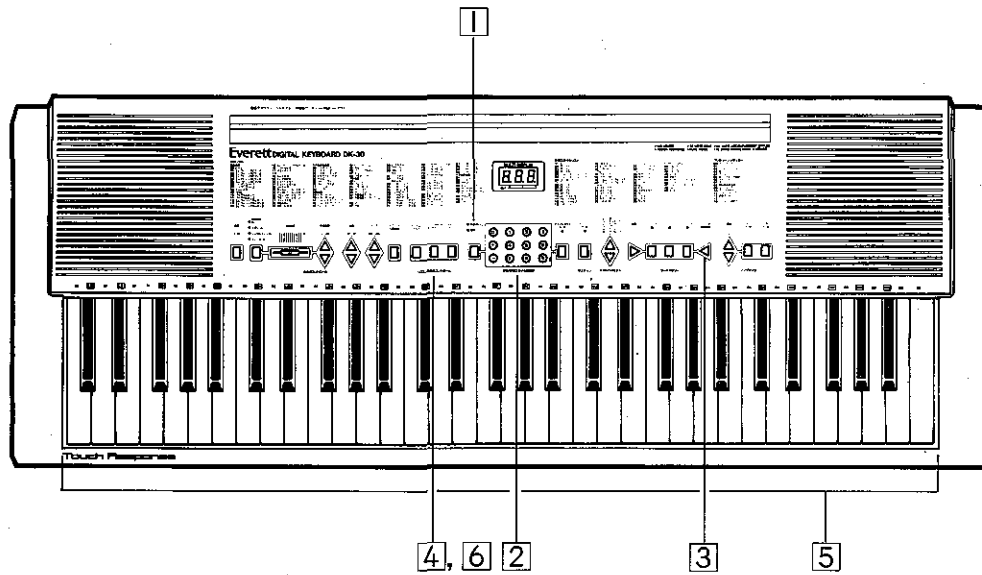
10分の
再生設定



再生は止めるまで繰り返されます。

※電源アダプターを外したり、乾電池を抜く、または初期化すると、お手本の順番になります。(68ページ参照)

● 連結再生



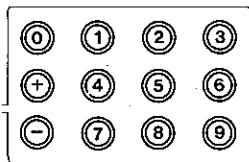
1 音色ランプの点灯確認

- 伴奏スタイル
- 音色



音色ランプが点灯していることを確認します。
伴奏スタイルランプが点灯している時は、伴奏スタイル/音色切替ボタンを押して、音色ランプを点灯させます。

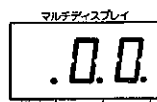
2 音色の指定



音色/伴奏スタイルの選択ボタンで、手弾き音の音色を指定します。

3 連結再生を可能に

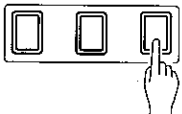
バンクの
順番設定



バンクの順番設定ボタンを押します。
※この操作をした時点で、メトロノーム音が1拍ごとに鳴り出すと共に、マルチディスプレイ内の3つの点が同時に点滅し始めます。(連結再生待機状態です。)
※連結再生をやめる場合は、もう一度バンクの順番設定ボタンを押します。

4 再生の開始

イントロ/ シンクロスタート/ スタート
フィルイン エンディング ストップ

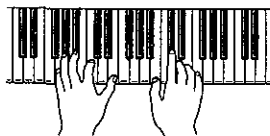


スタート/ストップボタンを押します。すると、すぐに連結させた順に再生が始まります。

※再生前に設定されていたテンポで再生が始まります。

※再生の終わりまで再生された後は、連結の頭に戻り、連結再生が繰り返されます。(ただし途中のバンクがエンディングで終了している場合は、そのエンディング再生後に止まります。)

5 演奏



再生される伴奏に合わせて、演奏しましょう。

※テンポを変えて再生させることも可能です。

※イントロ/フィルインボタンを押して、フィルインを入れることもできます。

※同時発音数には制限があります。(8ページ参照)

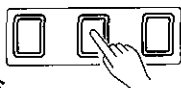
※スプリットやデュアル、サステイン、オートハーモニーなどの機能を使うこともできます。

※連結再生中は、バンク1~3ボタンを押しても反応しません。

6 再生の終了

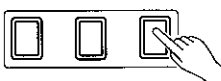
エンディングパターンで終了させる場合

イントロ/ シンクロスタート/ スタート
フィルイン エンディング ストップ



すぐに終了させる場合

イントロ/ シンクロスタート/ スタート
フィルイン エンディング ストップ



再生は止めるまで繰り返されます。

5. 他の機器と接続する

背面パネルの付属端子を使って、各機器と接続できます。

・ヘッドフォン/外部出力端子

この端子を使いステレオなどに接続して、より大きな音で鳴らしたり、カセットテープに演奏を録音することができます。また、ヘッドフォンを接続して外に音を出さずに演奏できます。
 ※電源ボタンを入にする時は、ステレオのボリュームを最小にしてください。

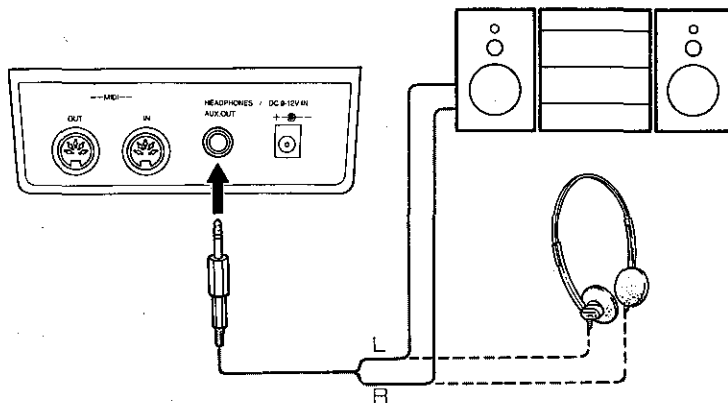
※この端子にプラグを差し込むと、DK-30のスピーカーからは音が出なくなります。

・電源アダプター接続用端子(2ページ参照)

付属の電源アダプターPA-3を接続するための端子です。

・MIDI(イン、アウト)端子(63ページ参照)

この端子を使い他のMIDI機器と接続して、MIDIに関する情報をやりとりさせることができます。そして、様々なコントロールが可能です。



6. MIDI機能を使う

DK-30はMIDI機能(MIDI端子)をもった楽器です。ここでは、MIDI端子の説明やMIDI機能を使ってできること、MIDIに関する設定方法を順に紹介します。

●MIDIとは？

MIDIという言葉はミュージカル・インストゥルメント・デジタル・インターフェイス (Musical Instrument Digital Interface) の頭文字をとったもので、「ミディ」と読みます。MIDIは、2台以上のMIDI製品を接続して、それらの間で、演奏にまつわる様々なコントロールをさせようという目的で考え出された世界統一規格です。

●本機のMIDI端子

本機には、次のように2種類のMIDI端子があります。



MIDI OUT(ミディアウト)

DK-30の演奏情報をデジタル信号で出力します。

MIDI IN(ミディイン)

他のMIDI製品からの演奏情報を入力します。

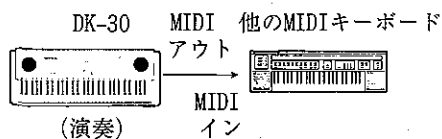
★MIDI接続には、別売のMIDIケーブルが必要です。

●MIDIでできること

MIDI製品と一口にいても実に様々なものがありますので、ここでは代表的なものを選んで“できること”を紹介します。接続する製品の取扱説明書も合わせてご覧ください。

MIDIアウト端子を使ってできること

◆MIDIキーボードを接続した場合

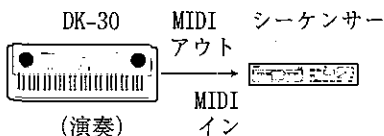


★DK-30で鍵盤演奏すると、接続した製品もそれ自身の音色と同時に鳴り、音に厚みができます。

★DK-30で音色を切り替えると、接続した製品の音色も同時に切り替わります。切り替わる音色は、接続した製品によります。

◆MIDIシーケンサーを接続した場合

(MIDI信号などデジタル情報で演奏を録音する機器は、一般にシーケンサーと呼ばれています。)

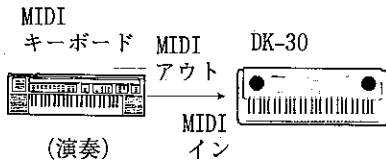


★DK-30で鍵盤演奏する内容を、MIDIシーケンサーに記録できます。MIDIシーケンサーには多くの曲を記録しておくことができ、後でそれを自由に再生できます。

★弾いた音符の情報だけでなく、音色の切替情報も同時に記録できます。

MIDIイン端子を使ってできること

◆MIDIキーボードに接続した場合

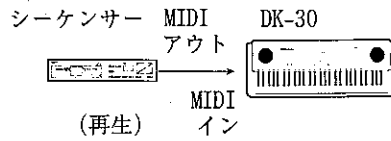


★外部のMIDIキーボードで演奏すると、DK-30がそれ自身の音色で同時に鳴り、音に厚みができます。

★外部のMIDIキーボードで音色を切り替えると、DK-30の音色も同時に切り替わります。切り替わる音色は、外部のMIDIキーボードによります。

★DK-30の自動伴奏切替が、シングルフィンガーまたはフィンガーの時には、外部のMIDIキーボード上で自動伴奏の演奏ができます。

◆MIDIシーケンサーに接続した場合

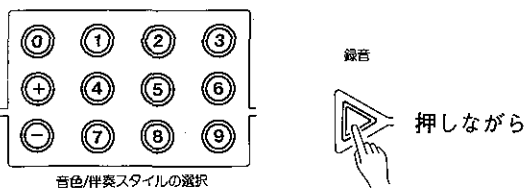


★MIDIシーケンサーに記録済みの演奏内容を、DK-30の音色で再生できます。

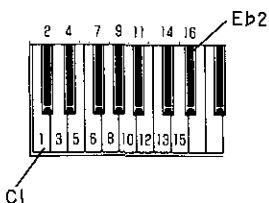
●MIDIの設定方法と機能

設定項目	操作①	操作②	表示および設定範囲
リモートコントロールモード/マルチモードの切替	録音ボタンを押しながら、0ボタンを押して切り替える。(図A参照)	-	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>リモートコントロールモード*</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>マルチモード*</p> </div> </div> <p>※電源を入れた直後は、必ずリモートコントロールモードです。</p>
MIDI送信チャンネルの設定	録音ボタンを押しながら、1ボタンを押して切り替える。(図A参照) (現在の送信チャンネルが表示されます。)	そのまま録音ボタンは離さずに、該当する鍵盤(C1~E2)を押して指定する(図B参照)；	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>チャンネル1</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>チャンネル16</p> </div> </div> <p>※電源を入れた直後は、必ずチャンネル1です。</p>
MIDI受信チャンネルの設定	録音ボタンを押しながら、2ボタンを押して切り替える。(図A参照) (現在の受信チャンネルが表示されます。)	そのまま録音ボタンは離さずに、該当する鍵盤(C1~E2)を押して指定する。(図C参照)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>オムニオン+チャンネル1</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>オムニオン+チャンネル1</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>オムニオン+チャンネル16</p> </div> </div> <p>※電源を入れた直後は、必ずオムニオンです。</p>

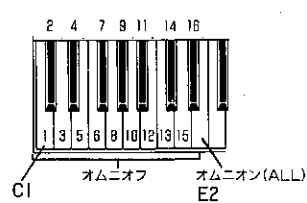
図A



図B



図C



◆リモートコントロールモードについて

リモートコントロールモードは、DK-30で外部キーボードや外部音源をコントロールしたり、外部キーボードやシーケンサーなどからDK-30をコントロールできるモードです。

外部キーボードでDK-30の自動伴奏のコードを変えたり、スタート/ストップをコントロールすることもできます。

★電源(入/切)ボタンを入にした時は、必ずリモートコントロールモードになっています。

★同時発音数は最大28音です。(8ページ参照)

リモートコントロールモードでの送信

★MIDI送信チャンネルを、外部機器のMIDI受信チャンネルと合わせてください。もしくは外部機器をオムニオンに設定してください。

★リモートコントロールモード、マルチモードを問わず、送信チャンネルを変更した場合は、電源を切るまで、その送信チャンネルは保持されます。

★伴奏の情報、プリセットソングの情報、コードメモリーの情報は送信されません。(手弾き音の情報が送信されます。)

★押鍵の強さに応じたベロシティで送信されます。

★移調の設定は無視して送信されます。

★サステイン(入/切)ボタンを押しても、サステインオン/オフは送信しません。

★音色選択するとプログラムチェンジが送信されます。(音色番号と同じ番号で送信される。)

★リズムをスタートさせるとMIDIスタートが送信されます。

★リズムをストップさせるとMIDIストップが送信されます。

★テンポに従ってMIDIクロックが常時送信されます。本機を外部同期にした場合は、外部同期のタイミングで送信します。

リモートコントロールモードでの受信

★MIDI受信チャンネルを、外部機器のMIDI送信チャンネルと合わせるか、または受信側をオムニオンにしてください。

★オムニオンはチャンネル設定に関係なく、どのチャンネルメッセージでも受信できる状態で、オムニオフは指定したチャンネルの情報だけを受信できる状態です。

★シングルフィンガーまたはフィンガードの状態にしておくと、低音側でコード検出が可能です。

★スプリットの状態にしておくと、低音側と高音側で異なる音色の発音が可能です。

★受信のベロシティに応じた強さで発音します。(音色によって、ベロシティセンシティブリティが異なります。)

★サステインオン/オフを受信すると、サステインが入/切されます。

★プログラムチェンジを受信すると、受信した番号の音色になり

ます。(チャンネル16はリズム専用チャンネルのため、プログラムチェンジは受信しません。)

★MIDIスタートを受信するとスタートします。

★MIDIストップを受信するとストップします。

★送信元の機器からMIDIクロックを受信すると、テンポは自動的に外部機器のテンポに変更されます。

この時DK-30のテンポボタンを押すと、外部クロックを意味する"EC"が表示されますが、DK-30のテンポはロックされて変更することはできません。

★テンポがロックされた後、MIDIクロックが送られてこない場合は、ロックが解除されてDK-30のテンポに戻ります。

◆マルチモードについて

マルチモードは、DK-30を受信側に接続して音源として使用することを前提としたモードです。マルチモードにすると、同時に複数のチャンネルの情報を受信できるようになります。たとえばMIDIシーケンサーに記録されている複数のチャンネルの演奏情報をDK-30に受信させ、同時に複数の音色で鳴らしたい時にマルチモードにします。

★同時発音数は最大28音です。(8ページ参照)

マルチモードでの送信

★MIDI送信チャンネルを、外部機器の録音トラックのMIDI受信チャンネル等と合わせてください。

★このモードではローカルコントロールオフという状態になり、DK-30で演奏してもDK-30では発音されません。

★押鍵の強さに応じたベロシティで送信されます。

★移調の設定は無視して送信されます。

★サステイン(入/切)ボタンを押しても、サステインオン/オフは送信しません。

★音色選択するとプログラムチェンジが送信されます。(音色番号と同じ番号で送信される。)

送信チャンネルに対応するDK-30の音色も、同時に変更されます。

マルチモードでの受信

★1~16チャンネルのどのチャンネルの情報でも受信可能です。ただし、16チャンネルはリズムパート専用です。

★受信のベロシティに応じた強さで発音します。(ベロシティセンシティブリティは全音色一定です。)

★サステインオン/オフは受信しません。

★プログラムチェンジを受信すると、該当するチャンネルの音色番号が切り替わります。

★MIDIスタート、MIDIストップ、MIDIクロックは受信しません。

MIDIエラー

MIDI受信の際、送受信間のトラブルのために正確に情報がやりとりされなかった場合は、全ての音が止まります。

バッファフルの場合

MIDI受信の際、送受信バッファの容量を越えるデータが生じた場合は、発音中の音が全て消えます。(エラー表示はされません。)

DK-30

MIDIインプリメンテーションチャート(リモートコントロールモード)

Date: 1993.7.1
Version: 1.0

フ	送	受	備
クション	信	信	考
ベ ン ク 電 源 ON 時 チ ャ ン ネ ル 設 定 可 能	1チャンネル 1~16チャンネル	オムニオン 1~16、オムニオン	
モ ー ド 電 源 ON 時 メ ッ セ ー ジ 代 用	モード1 × *****	モード1 × ×	
ノ ー ド チ ャ ン ネ ル 音 域	36~96 *****	24~127 24~127	
ベ ロ ン テ ィ ノ ー ド ・ オ ン ノ ー ド ・ オ フ	○ 9nH、v=1~127 × 9nH、v=0	○ 9nH、v=1~127 × 9nH、v=0、 8nH	
ア フ タ ー キ ー 別 ダ ッ チ チ ャ ン ネ ル 別	× ×	× ×	
ピ ッ チ ・ ベ ン ダ ー	×	×	
コ ン ト ロ ー ル チ ェ ン ジ 64	×	○	サステインオン/オフ
プ ロ グ ラ ム チ ェ ン ジ 設 定 可 能 範 圍	○ 0~99 *****	○ 0~99 0~99	
エ ク ス ク ル ・ シ ブ	×	×	
コ モ ン ソ ン グ ・ ポ ジ シ ョ ン ソ ン グ ・ セ レ ク ト チ ェ ン ジ	× × ×	× × ×	
リ ア ル ク ロ ッ ク コ マ ン ド タ イ ム	○ ○	○ ○	※1
そ の 他 ロ ー カ ル ON/OFF オ ー ル ・ ノ ー ド ・ オ フ ア ク テ ィ ブ セ ン シ ン グ リ セ ッ ト	× × ○ ×	× × ○ ×	

備考 ※1 外部クロック受信で、外部同期に切り替わる。

モード1：オムニ・オン、ポリ モード2：オムニ・オン、モノ ○：あり
モード3：オムニ・オフ、ポリ モード4：オムニ・オフ、モノ ×：なし

DK-30

MIDIインプリメンテーションチャート(マルチモード)

Date: 1993.7.1
Version: 1.0

ファンクション	送 信	受 信	備 考
ベインック電源ON時 チャンネル設定可能	1チャンネル 1~16チャンネル	1~16チャンネル 1~16チャンネル	
モード電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *****	モード1 ※1 × ×	
ノート音域	36~96 *****	24~127 24~127	
ペロントイノット・オン ノット・オフ	○ 9nH、v=1~127 × 9nH、v=0	○ 9nH、v=1~127 × 9nH、v=0、8nH	
アフターキー別 タッチチャンネル別	× ×	× ×	
ピッチベクター	×	×	
コントロールド チェンジ	×	×	
プログラム チェンジ 設定可能範囲	○ 0~99 *****	○ 0~99 ※2 0~99	
エクスクルージブ	×	×	
ロモン リング・ポジション リング・セレクト チェーン	× × ×	× × ×	
リアルタイム クロック コマンド	× ×	× ×	
その他 ローカルON/OFF オールノット・オフ アクティブセンシング リセット	× × ○ ×	× × ○ ×	
備考	※1 16チャンネルマルチティンバー ※2 チャンネル16は受け付けない。(リズム専用)		

モード1: オムニ・オン, ポリ
モード3: オムニ・オフ, ポリ

モード2: オムニ・オン, モノ
モード4: オムニ・オフ, モノ

○: あり
×: なし

5. 資料

1. 初期化する

以下の項目は、電源(入/切)ボタンを切にしても、電源アダプターまたは乾電池がセットされていれば、DK-30に記憶されていますが、それぞれを初期化して元の状態(初めて手にした時の記憶内容)に戻すこともできます。

- ・スプリット位置(スプリット、シングルフィンガー、フィンガード時のそれぞれ)
- ・コードメモリーの録音内容(バンク1~3それぞれ)
- ・バンクの順番設定

◆スプリット位置の初期化の方法

- ①電源(入/切)ボタンを押して電源を切る。
- ②スプリット位置切替ボタンを押しながら、電源(入/切)ボタンを押して電源を入れる。
- ③マルチディスプレイに"clr"が表示されたら、初期化終了です。スプリット、シングルフィンガー、フィンガード、3つのスプリットポイントが一度に初期化されます。

スプリット位置の初期状態

- ・スプリット時.....C3
- ・シングルフィンガー時.....D2
- ・フィンガード時.....G2

◆コードメモリーの録音内容初期化の方法

- ①電源(入/切)ボタンを押して電源を切る。
- ②初期化したいバンクのボタンを押しながら、電源(入/切)ボタンを押して電源を入れる。(一度に2つのバンクのボタンを押して2つのバンクを初期化することも可能)
- ③マルチディスプレイに"clr"が表示されたら、初期化終了です。

バンク1~3の録音内容初期状態

- ・バンク1(伴奏スタイル:01 ダンス2)
|| C7 | F7 | C7 | F7 ||
└──ファイル──┘
- ・バンク2(伴奏スタイル:21 スイング1)
|| B^b7 | B^b7 | B^b7 | B^b7 |
| E^b7 | E^b7 | B^b7 | B^b7 |
| F7 | E^b7 | B^b7 | B^b7 ||
└──ファイル──┘
- ・バンク3(伴奏スタイル:05 ユーロビート)

- || C | C | Am7 | Am7 |
| Dm7 | Dm7 | G7 | G7 ||
└──ファイル──┘

◆バンクの順番設定初期化の方法

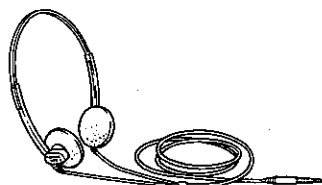
- ①電源(入/切)ボタンを押して電源を切る。
- ②バンクの順番設定ボタンを押しながら、電源(入/切)ボタンを押して電源を入れる。
- ③マルチディスプレイに"clr"が表示されたら、初期化終了です。

バンクの順番設定初期状態

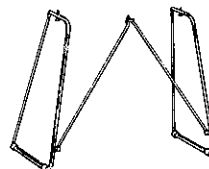
- ・バンク1→バンク2→バンク3

2. オプション(別売品)のご紹介

- ステレオヘッドフォン・HPE-3 ¥3,000
- ステレオヘッドフォン・HPE-150 ¥4,000



- スタンド・L-2C ¥6,000



※表示の価格には、消費税は含まれていません。

3. おかしいな?と思ったら

おかしいな?と思ったら、この表を見てください。

現象	原因	解決法
音がとぎれたり、誤動作がおさたりする。	乾電池が寿命のため。	6本共新しい乾電池と交換するか、または付属の電源アダプターを接続してください。
電源(入/切)ボタンを入または切にした時、“ボーン”と音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
電源を切っていないのに、切れている。	乾電池使用時の電源の切り忘れに対応する機能が、働いたためです。	10分以上使わないでいると、自動的に切れます。
スピーカから音が出ない。	音量が下がっている。	総合音量レバーを上げてください。
	ヘッドホン/外部出力端子にプラグを差しているため。	プラグを抜いてください。
	マルチモードになっている。	リモートコントロールモードに戻してください。(65ページ参照)
リズムがスタートしない。リズムの音が出ない。	スタートさせていない。	スタート/ストップボタンを押してください。
	シングルフィンガーまたはフィンガードの演奏待機状態になっている。	コードを押してください。
	伴奏音量が下がっている。	伴奏音量を上げてください。
電源が切れない。	内部のコンピュータが静電気や外部要因のため、異常をきたしたため。	乾電池および電源アダプターを抜いてください。
自動伴奏音が出ない。	シングルフィンガーまたはフィンガードの状態になっていない。	自動伴奏切替ボタンを、シングルフィンガーまたはフィンガードの状態にしてください。
	フィンガードの状態で、シングルフィンガーの押さえ方をしている。	47ページの“フィンガードコード一覧表”等をご覧ください。
	シンクロスタートを解除した。	シンクロスタートボタンを押して、コードを弾いてください。(38ページ参照)
鍵盤の途中から音階がおかしくなる。	低音側の鍵盤を押している。	スプリットの状態になっている時は、そのようになります。
思った通りの和音が出ない。	指を離さないうちに、次のコードにしようとしている。	鍵盤から一旦指を離したうえで、次の鍵盤を押すようにしてください。
	正確に押さえしていない。	41ページの“シングルフィンガーコード一覧表”47ページの“フィンガードコード一覧表”等をご覧ください。
押さえた鍵盤の数だけ音が出ない。	同時に鳴らせる音数には制限があります。	伴奏等も含めて、最大28音の範囲で発音させることができます。
選んでいない音色で鳴る。	自動伴奏切替ボタンが、シングルフィンガー、またはフィンガードになっている。	伴奏の音色は、スタイルごとに決まっています。
	伴奏スタイルの選択状態で、音色を指定した。	伴奏スタイル/音色切替ボタンを押して、音色ランプを点灯させてから指定してください。
選んでいないスタイルで鳴る。	音色の選択状態で、伴奏スタイルを指定した。	伴奏スタイル/音色切替ボタンを押して、伴奏スタイルランプを点灯させてから指定してください。
オートパーモーン効果がからまないパートがある。	かかるパートが決まっているため。	リズム、ベース、コードには、効果はかかりません。
記憶させておいたデータが消えている。	電源を切ると消えてしまう内容。または電源の供給を断った。	もう一度記憶させてください。
テンポが変わらない。	外部機器のテンポに同期している。	外部機器のテンポを変えるか、またはMIDIケーブルを外してください。
	テンポの調節範囲を越えようとしている。	テンポの調節範囲は、♩=40~240の範囲です。

4.仕様

- 鍵盤
一段鍵盤61鍵(C₁~C₆)
- 同時発音数
最大28音
- 音色(100音色)
- 効果
サステイン、オートハーモニー(5種類)、
スプリット、デュアルボイス
- ボリューム
総合音量レバー、伴奏音量ボタン
- 音色 伴奏スタイルの選択
伴奏スタイル/音色切替ボタン、音色/伴奏スタイルの
選択ボタン(0~9、+、-)
- アカンパニメント
伴奏スタイル(50種類)
- リズムコントロール
テンポ(♩=40~240)、イントロ、シンクロスタート、
スタート、フィルイン、エンディング、ストップ
- プリセットソング(15種類)
- プリセットソングコントロール
選曲ボタン(00~14)、マイナスイオン(入/切)、
デモ(入/切)
- ドラムス音(25種類)
- 自動伴奏
シングルフィンガー/フィンガード
- コードメモリー
録音、バンク1~バンク3、バンクの順番設定(最大8連結)
- その他コントロール
電源ボタン、移調(-12~12)
- マルチディスプレイ
3桁LEDディスプレイ
- 付属端子
ヘッドフォン/外部出力端子、MIDI端子(イン、アウト)、
電源アダプター接続用端子
- メインアンプ
ステレオ、2W×2
- スピーカー
10cm(4Ω)×2
- 定格電源
DC9~12V：電源アダプター・PA-3
単1乾電池6本
- 消費電力
電源アダプター使用時：11W
乾電池使用時：5.8W
- 外装仕上げ
スチロール樹脂・アクリルラッカー塗装
- 寸法(譜面立て取り外し時)
(間口)931mm×(奥行)347mm×(高さ)136.5mm
- 重量
4.7kg(乾電池重量含まず)
- 付属品
電源アダプター・PA-3、譜面立て

5. サービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

- 本機の保証は、保証書によりご購入から満1ヵ年です。
(日本国内のみ有効)
- 保証期間の1ヵ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店が右記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“おかしいと思ったら”の項をいま一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと、故障でない場合でも点検代を申し受けることもございます。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号などをハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならぬようなときにお客さまにご迷惑をおかけしなさいですみます。)

■エベレットホットライン

特販営業部
エベレット営業課
☎フリーダイヤル 0120-431-808

■ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目1-50(ヤマハセンター内) TEL.011-513-5036
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5-7 (仙台卸商共同配送センター3F) TEL.022-236-0249
新潟サービスセンター	〒950 新潟市万代1-4-8 (シルバーボールビル2F) TEL.025-243-4321
東京サービスセンター	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 (龍名館ビル4F) TEL.03-3255-2241
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL.044-434-3100
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 (ヤマハ隣宮竹工場内) TEL.053-465-6711
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 (ヤマハ隣名古屋流通センター3F) TEL.052-652-2230
大阪サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 (ヤマハ隣千里丘センター内) TEL.06-877-5262
四国サービスセンター	〒760 高松市丸亀町8-7 (ヤマハ隣高松店内) TEL.0878-22-3045
広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原6-14-14 TEL.082-874-3787
九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2134
[本社] カスタマーサービス部	〒435 浜松市上西町911 (ヤマハ隣宮竹工場内) TEL.053-465-1158

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

ヤマハ株式会社

特販営業部
エベレット営業課
〒104 東京都中央区銀座7-9-18
パールビル8F
☎フリーダイヤル0120-431-808